

高校アーチェリー会報

第4号



全国高体連アーチェリー専門部

1990年5月

目 次

巻頭言 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 部長 松崎 洋右	2
全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 委員長 清水 修	3
沿 革	4
全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部役員名簿一覧	6
全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部委員名簿一覧	7
全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約	8
総務委員会 規程	11
競技委員会 規程	12
審判委員会 規程	13
強化委員会 規程	14
事務局 規程	15
アーチェリー専門部表彰 規程	16
アーチェリー専門部慶弔 規程	17
全国高等学校体育連盟ア専門部・全日本ア連盟 登録届用紙の流れの順序について ..	18
登録届記入法	19
資料Ⅱ1 指定都道府県番号表	20
全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部会員登録届用紙	21
学校登録番号一覧表	22
'89ジュニアチーム海外派遣 強化委員 朝倉 基夫	31
学校登録数・会員登録数等 一覧表	34
学校紹介 福岡県立柏陵高校	35
北海道立旭川北高校	37
選手権大会 栄光の歩み	39
選抜大会 栄光の歩み	42
日本高校記録	43
大会開催地・開催順	44
記録収集について	45
高校公認記録規程	46
記録承認申請書	48
服装規定について	50
大会実施要項に記載すべき内容	53
大会プログラム作成の基準について	55
口座番号・幹旋物資についての問合わせ先	61

巻 頭 言



全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部

部 長 松 崎 洋 右

平成元年度の諸行事も、当初の計画の道り立派な成果を収めて無事終了したことを、皆さんとともに喜びたいと思います。

ここ数年来全国高体連加盟を初めとして、各地区高体連への加盟県の増加と組織及び活動の充実発展は目覚ましく、今日までの歴代部長をはじめ、熱意ある先生方のお力によりまして、まさに日本の高校スポーツの一翼を担うにふさわしい、素晴らしい活動が展開されてまいりました。

また長期間に渡りご審議いただきました、全国高体連専門部の新規約も制定され、名実共に組織の基礎が確立しました。これまでに至る関係者のご努力には並々ならぬものがあつたと思います、あらためて衷心より感謝を申しあげる次第です。

平成5年より全国高体連の一員として全国大会（インターハイ）が行われることに決定しております、それに伴う大会要項の改訂も、専門部協議委員会を中心に検討が進められておりますが、今後とも関係各方面のご理解と、ご協力をいただいて実施にこぎつけなければなりません。

さて一つの目標を達成した今、理想高く新たな目標に向かい出発する必要があります、今後とも専門部の先生方の英知を出し合い、さらに一層の充実発展強化のため精進をお願い申し上げまして、巻頭の言葉といたします。

委員長あいさつ

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部

委員長 清 本 修

全国高体連アーチェリー専門部もいよいよ充実せねばなりません。

小笠原部長から里見部長に引きつがれましたが、一年余で松崎新部長を迎えるに至りました。全国高等学校アーチェリー一部顧問の先生方には、様々なご迷惑をかけたこともありましたでしょうが、松崎部長は熱意を持って他の役員とともに努力されていくことと思います。組織も新たになり、審判委員会が新設され、ますますの充実を目指しております。

そしていよいよ、平成五年の栃木で行われるインターハイからアーチェリーが正式加盟することとなりました。それを機に全国高校選手権は、ハーフラウンドからシングルラウンドの競技となります。またこれにより、現在、グラウンド方式が検討されています。世界をかんがえてみますと、グラウンド方式を取り入れて大会を行なっている国がやはり実力を備えています。我々もこの方式を取り入れることによってより素晴らしい選手を育成していかなければなりません。ジュニアの強化こそ、アーチェリーの発展を望む上での最重要課題であると言っても過言ではないからです。

各高等学校におかれましても、これらを念頭におき、より一層の向上にむかわれま

すことを期待しております。

沿 革

昭和13年	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカから帰国した、菅 重義氏により日本にアーチェリーが紹介される。
昭和22年	<ul style="list-style-type: none"> ・日本洋弓会が設立される。(愛好者が増加傾向)
昭和34年	<ul style="list-style-type: none"> ・日本アーチェリー協会設立 (学校への活動用具貸与による援助始まる)
昭和37年	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象とした近畿総合体育大会が、全国で初めて開催される。
昭和43年	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回全国高校アーチェリー競技会開催(東大阪市・旧布施市)
昭和44年	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回全国高校アーチェリー競技会開催(静岡県)
昭和45年	<ul style="list-style-type: none"> ・競技会の名称変更「全国高等学校アーチェリー選手権大会」以後より今日に至る。
昭和46年	<ul style="list-style-type: none"> ・選手権参加規定変更・任意参加を各都道府県で2校以内と前年度優勝校に参加を制限。 ・組織を「全国アーチェリー連盟高校部」に改称
昭和49年	<ul style="list-style-type: none"> ・選手権参加規定変更・各都道府県の代表校制に変更、男女1校と前年度優勝校に改正。 ・優勝碑「ダイアナ」(狩猟の女神：ギリシャ神話)が新たに新調される。 (川上源一氏と滋賀県協会の格別の好意により、ブロンズ像制定。) 【制作者：小谷 謙氏・日展会員・京都府在住】
昭和51年	<ul style="list-style-type: none"> ・運営組織のより一層の明確化が図られる。 ・木村好治氏(青森県アーチェリー協会・元名久井農業高校校長)を初代高校部長に選出。 ・改定組織関係役員決定。
昭和52年	<ul style="list-style-type: none"> ・選手権参加規定変更・団体出場校以外の学校より、個人選手の参加を認める。
昭和53年	<ul style="list-style-type: none"> ・大会開催基準・運営細則に関する全面的な見直し、改正に着手。 (協会主導の運営から、高校サイドへの移行に伴い)
昭和54年	<ul style="list-style-type: none"> ・部長、理事長制及び各都道府県ブロックの実情に即した常任理事や代表理事制を取り入れる。初代理事長に中田 昇氏を選出。 ・全国大会記録集創刊
昭和54年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高体連加盟に向け、高体連旗・表彰等の使用申請の働き掛けが始まる。
昭和55年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高体連へ加盟申請する。 ・中田 昇氏 二代目高校部長に選出。 ・総務・競技・強化・事務局の4部門を設定し、積極的な組織運営策の取組が始まる。
昭和56年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国選手権大会開催方針変更・大会経費内部負担の軽減・大会運営への地元高校への協力要請 ・専門部設置県の増加を目指し、各地で運動広がる。

昭和57年 昭和58年	<ul style="list-style-type: none"> ・小笠原朋憲氏三代目高校部長に選出。高体連加盟申請継続 ・全国高体連正式加盟への手順決定される。 ・第1回全国高校選抜大会開催（愛知・森林公園） ◎準加盟として競技種目を扱う。 ◎名義共催と全国総体開催期間中の同時開催禁止。 ◎加盟については、おおむね30都道府県で高体連加盟が審議条件または、40都道府県に於いて 実質的な活動の場合。
昭和59年	<ul style="list-style-type: none"> ・組織拡充と事業実施内容等の統一化に向けて運動強化。 ・ジュニア選手の強化並びに全米選手権大会への派遣事業始まる。
昭和61年	<ul style="list-style-type: none"> ・清本 修氏理事長に選出。 ・学校登録指定番号・ランキング制度開始。 ・会報の発刊始まる。
昭和62年	<ul style="list-style-type: none"> ・アーチェリー専門部設置に向けて、各都道府県高体連事務局への意向調査、協力要請を行う。
昭和63年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高体連への加盟承認される。（5月） ・新組織による常任委員会開催。（伊豆下田市） ・全国高体連専門部規約審議、原案決定。 ・里見勝人氏（淑徳高校校長）四代目高校部長に選出。副部長に松崎洋右（大宮開成高）猪飼 彰（愛工大名電高）の2名を選出。 ・清本 修（可部高校）初代専門委員長に選出。 ・中込恵子（山梨・甲府第一高）オリンピック代表へ。
平成元年	<ul style="list-style-type: none"> ・五代目高校部長 松崎洋右（大宮開成高）を選出

全国高等学校体育連盟ア—チェリ—専門部役員名簿

(1989~1990) 平成2年3月13日現在

役職名	氏名	所在地	学校名	電話	F A X			
部長	松崎 洋右	☎330 大宮市堀之内1-615	大宮開成高	0486-41-7161	048-647-8881			
副部長	猪飼 彰	西地区	☎464 名古屋市千種区若水3-2-12	愛知工業大学名電高	052-721-0311	052-711-4620		
		東地区						
顧問	木村 好治	☎039-15青森県三戸郡五戸町天満後44-6	元全国高校部長	0178-62-3223				
	小笠原朋憲	☎153 目黒区駒場1-35-32	元全国高校部長	03-467-2130	03-467-2138			
	里見 達人	☎174 板橋区前野町5-14-1	前全国高校部長	03-969-7411				
委員長	清本 修	中国	☎731-02広島市安佐北区可部3-15-26	可部高	082-814-2032	082-815-4781		
副委員長	総務◎	田中 康彦	東海	☎465 名古屋市千種区光ヶ丘2-11-41	愛知高	052-721-1521	052-723-2254	
	競技◎	籾内 徹	近畿	☎521-02滋賀県坂田郡山東町朝日302	伊吹高	0749-55-2350	0749-55-2778	
	審判◎	坂本 憲昭	中国	☎744 下松市大字河内114	下松高	0833-41-0157		
	強化◎	嶋守 英敏	東北	☎034 十和田市相坂字高清水78	三本木農業高	01762-3-5341		
常任委員	総務	阿部 武	東北	☎989-42遠田郡南郷町大柳字天神原7	南郷高	022-958-1122		
	総務	宮崎 利悞	関東	☎330 大宮市堀之内1-615	大宮開成高	0486-41-7161	048-647-8881	
	総務	吉田 五衛	北信越	☎910 福井市御幸2-25-8	高志高	0776-24-5175	0776-24-5464	
	競技	上原喜八郎	関東	☎174 板橋区前野町5-14-1	淑徳高	03-969-7411		
	競技	横山 幹夫	北信越	☎916 鯖江市熊田町第10号7	丹南高	0778-62-2112		
	競技	水野慎一郎	東海	☎464 名古屋市千種区若水3-2-12	愛知工業大学名電高	052-721-0311	052-711-4620	
	競技	神谷 育孝	近畿	☎602 京都市上京区今出川通寺町西入	同志社女子高	075-251-4305		
	競技	住友 和男	四国	☎770 徳島市北矢三町2-1-1	徳島工業高	0886-31-4185		
	競技	大塚 敬輔	九州	☎856 大村市森園町1079-3	大村工業高	09575-2-3773		
	審判	西出 元	北海道	☎078 旭川西神楽3線5号	旭川工業高	0166-65-4115		
	審判	水上 英彦	東海	☎416 富士市平垣町1-1	富士見高	0545-61-0250	0545-63-5040	
	審判	河野 真一	近畿	☎596 岸和田市額原町	久米田高	0724-43-6651		
	強化	朝倉 基夫	北海道	☎061-21札幌市南区石山1条2丁目15	札幌啓北商業高	011-591-2021	011-591-2023	
	強化	後藤 明男	関東	☎324-06栃木県那須郡馬頭町馬頭1299-2	馬頭高	02879-2-2009		
	強化	吉成 謙	関東	☎400 甲府市美咲2-13-44	甲府第一高	0552-53-3525		
	事務局	局長	雨宮建次郎	関東	☎153 目黒区駒場1-35-32	東京工業高	03-467-2130	03-467-2138
		局員	菊池 直登	関東	☎194 町田市玉川学園6-1-1	玉川学園高	0427-28-3503	0427-28-3588
局員		小坂 純彰	関東	☎171 豊島区目白1-5-1	学習院高	03-986-0221	03-5992-1016	
局員		渡辺 忠雄	関東	☎153 目黒区駒場1-35-32	東京工業高	03-467-2130	03-467-2138	
監事	若林 武正	関東	☎235 横浜市磯子区岡村2-4-1	横浜学園高	045-751-6841			

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部委員名簿

平成2年3月13日現在

	都道府県名	氏名	学校名	所在地
1	北海道	西出元	県立旭川工業高	078 旭川市西神楽3線5号
2	青森	嶋守英敏	県立三本木農業高	034 十和田相坂字高清水78
3	岩手	佐藤邦明	県立盛岡工業高	020 紫波郡南村大字羽場字松崎18
4	宮城	阿部武	南郷高	989-42 遠田郡南郷町大柳字神原7
5	秋田	熊倉博	県アーチェリー協会	010 秋田市新藤田大所84-10
6	山形	佐藤誠	県立鶴岡北高	997 鶴岡市若葉町16-23
7	福島	金子和良	県アーチェリー協会	960 福島市黒岩戸ノ内2-1
8	茨城	藤田充史	県アーチェリー協会	316 日立市中成沢町4-43-1
9	栃木	後藤明男	県立馬頭高	324-06 那須郡馬頭町馬頭1299-2
10	群馬	佐藤功	県立沼田女子高	378 沼田市東倉内町753-3
11	埼玉	宮崎利帳	大宮開成高	330 大宮市堀之内1-615
12	千葉	青木昭	県立流山中央高	270-01 流山市大畔275-5
13	東京	雨宮健次郎	東京工業高	153 目黒区駒場1-35-32
14	神奈川	若林武正	横浜学園高	235 横浜市磯子区岡村2-4-1
15	山梨	吉成謙	県立甲府第一高	400 甲府市美咲2-13-44
16	新潟	坂西精一	県立長岡工業高	940 長岡市幸町2-7-70
17	長野	篠井正信	県立篠ノ井高	388 長野市篠ノ井布施高田1161-2
18	富山	森秀治	県アーチェリー協会	939-01 西砺波郡福岡町5位852
19	石川	中村司	県立金沢向陽高	920 金沢市大場町東590番地
20	福井	横山幹夫	県立丹南高	916 鯖江市熊田町10-7
21	静岡	水上英彦	富士見高	416 富士市平垣町1-1
22	愛知	水野慎一郎	愛工大名電高	451 名古屋千種区若水3-2-12
23	三重	加藤多	松阪女子高	515 松阪市久保町梅村3番地
24	岐阜	鈴木正敏	県アーチェリー協会	502 岐阜市長城西町1-20
25	滋賀	富永雅博	県立虎姫高	529-01 東浅井郡虎姫町宮部2410
26	京都	神谷育孝	同志社女子高	602 京都市上京区今出川通寺町西入
27	大阪	河野真一	府立久米田高	596 岸和田市額原町
28	兵庫	杉原雄二郎	舞子高	655 神戸市垂水区学が丘3-2
29	奈良	鞍本哲夫	県立奈良高	630 奈良市法蓮町836
30	和歌山	宮崎一雄	県立貴志川高	640-04 那須郡貴志川町長原400
31	鳥取	山根俊一	県立倉吉農業高	682 倉吉市大谷166
32	島根	田中明	県立松江東高	690 松江市西川津中宮尾510
33	岡山	後藤藤浩	新見女子高	718 新見市新見2032-4
34	広島	清本修	県立可部高	737-02 広島市安佐北区可部3-15-26
35	山口	坂本憲昭	下松高	744 下松市大字河内114
36	香川	福島卓	県アーチェリー協会	760 高松市福岡町2-16-19
37	徳島	住友和男	県立徳島工業高	770 徳島市北矢三町2-1-1
38	愛媛	山崎香代	愛媛女子高	798 宇和島市伊吹町馬場421
39	高知	大久保健一		780 南国市岡豊町八幡569
40	福岡	岡部美義男	県立折尾高	807 北九州市八幡西区大膳2-23-1
41	佐賀	長谷川紘之	県立唐津農業高	847 唐津市神田字堤2629
42	長崎	大塚敬輔	県立大村工業高	856 大村市森園1079-3
43	熊本	友口勝	有明高	864 荒尾市増永字長浦2200
44	大分	堤幸祐	別府女子短大付属高	874-01 別府市大字野田78
45	宮崎	野村光秋	県アーチェリー協会	880 宮崎市池内町蛇籠迫913-3
46	鹿児島	田中満	県立鹿児島工業高	890 鹿児島市草牟田2-57-1
47	沖縄	島袋盛範	県立宜野湾高	901-22 宜野湾市真志喜268

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約

第 1 章 名 称

第 1 条 本部は全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部と称する。

第 2 条 本部の事務局は部長指定の学校に置く。

第 2 章 目 的

第 3 条 本部は全国高等学校体育連盟（以下「全国高体連」と称する）規約第 3 条に基づき、高等学校におけるアーチェリー競技の健全な育成発展を図ることを目的とする。

第 3 章 事 業

第 4 条 本部は第 3 条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 全国大会開催に関する事項の審議並びに執行。
- (2) アーチェリーの普及並びに競技力の向上に関する事項。
- (3) アーチェリーの講習及び調査研究。
- (4) 関係団体との連絡。
- (5) その他目的達成に必要な事項。

第 4 章 組 織

第 5 条 本部は全国高体連規約第 6 条に基づき、各都道府県アーチェリー専門部をもって組織する。

第 5 章 役 員

第 6 条 本部は次の役員を置く。

1. 部 長 1 名
 2. 副部長 若干名
 3. 委員長 1 名
 4. 副委員長 若干名
 5. 常任委員 9 名＋若干名
 6. 委 員 各都道府県より 1 名
 7. 監 事 2 名
 8. 事務局長 1 名
- (2) 本部は顧問を置くことができる。

第 7 条 役員の任期は 2 ヶ年とする。但し、再任は妨げない。補欠によって就任した役員

の任期は前任者の残任期間とする。

第8条 本部の役員は校長、教諭より選出する。但し、顧問を除く。

- (1) 部長及び副部長は委員の推薦により、全国高体連理事会の承認を得て、会長これを委嘱する。
- (1) 常任委員は全国各地域(北海道・東北・関東・北信越・東海・近畿・中国・四国・九州)の部会において選出された1名と若干名の推薦者を部長これを委嘱する。
- (3) 委員は各都道府県高体連アーチェリー専門部より1名を選出する。
- (4) 委員長及び副委員長並びに事務局長は常任委員会にて選出し、委員会にて承認する。
- (5) 監事は委員会で選出する。
- (6) 顧問は委員会で推挙することができる。

第9条 役員の任務及び構成は次のとおりとする。

- (1) 部長は本部を代表し、会務を統轄し全国高体連理事会に出席する。
副部長は部長を補佐し、部長事故あるときはその職務を代行する。
- (2) 常任委員は常任委員会を構成し、本部の重要事項を企画立案するとともに委員会の承認を得てその執行に当たる。
- (3) 委員は委員会を構成し、本部の重要事項を審議決定する。
- (4) 監事は本部の会計を監査し、その結果を委員会に報告する。
- (5) 顧問は本部の組織運営について委員会並びに常任委員会の諮問に応ずる。

第 6 章 会 議

第10条 委員会は年1回部長が招集し、次の事項を審議決定する。但し、部長が必要と認めた場合または委員の $\frac{1}{3}$ 以上から会議の目的事項を示して請求があった場合は、速やかに委員会を招集しなければならない。

(1) 会議では次の事項を審議する。

ア. 事業報告並びに計画 イ. 決算並びに予算

ウ. 役員の選出 エ. 規約の改正 オ. その他の重要事項

第11条 常任委員会は必要に応じ、部長がこれを招集する。常任委員は常任委員会の開催を要請できる。

第12条 委員会及び常任委員会は総員の $\frac{1}{2}$ 以上(委任状を含む)の出席がなければ開くことができない。全ての会議は部長が議長となる。

第 7 章 専門委員会

第13条 本部の事業の遂行のため、各種の専門委員会を設けることができる。

- (1) 専門委員会の名称・目的及び委員は委員会の決議を経て部長が定める。
- (2) 専門委員会の規定は別にこれを定める。

第 8 章 事務局

第14条 本部に事務局をおく。事務局の規定は別にこれを定める。

第 9 章 規約の変更

第15条 本部の規約は委員会において、委員の $\frac{2}{3}$ 以上の同意を得て変更することができる。

第 10 章 会 計

第16条 本部の経費は補助金・助成金その他の収入によってこれをあてる。

第 11 章 付 則

第17条 規約の施行については必要な事項は委員会の議決を経て部長が定める。

第18条 本規約は平成1年2月11日より施行する。

総務委員会規程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条にもとづき総務委員会(以下委員会と称する)を設ける。

第2条 委員会は次の事業を行なう。

1. 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第4条の事業に必要な資金を調達すること。
2. 優秀選手の表彰に関すること。
3. 関係功労者の表彰に関すること。
4. 規約改正に関すること。
5. 機関誌の発行に関すること。
6. その他部長が指定する事項を処理すること。

第3条 委員会は次の委員をもって組織する。

1. 委員会において推薦された若干名の委員。
2. 部長が常任委員の中から指名する若干名の委員。

第4条 委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。

第5条 委員長ならびに副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。

第6条 委員長は委員会を代表し、委員会の会務を掌握する。

第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。

第9条 委員会は委員長が招集し、その議長となる。

第10条 委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、委員会の承認を受ける。

第11条 緊急事項で委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は昭和58年8月1日から施行する。

昭和60年8月10日一部改正

平成元年7月27日一部改正

競 技 委 員 会 規 程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条にもとづき競技委員会(以下委員会と称する)を設ける。

第2条 委員会は次の事業を処理する。

1. 競技会開催に関する基本方針を確立すること。
2. 全国高等学校アーチェリー選手権大会および選抜大会の実施方法その他の重要事項を審議すること。
3. 本専門部関係の競技会開催の調整をはかること。
4. 各競技会の記録整理および認定保存をはかること。
5. その他競技に関する必要事項。

第3条 委員会は、次の委員をもって組織する。ただし、必要に応じ臨時の委員を置くことができる。

1. 専門部部长が常任委員会の中から指名する若干名の委員。
2. 全国専門委員長会で推薦された若干名の委員。

第4条 委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。

第5条 委員長および副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。

第6条 委員長は委員会を代表し、委員会の会務を掌握する。

第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。

第9条 委員会は委員長が招集し、その議長となる。

第10条 委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、委員会の承認を受ける。

第11条 緊急事項で委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は昭和58年8月1日から施行する。

昭和60年8月10日一部改正

平成元年7月27日一部改正

審判委員会規程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条にもとづき審判委員会(以下委員会と称する)を設ける。

第2条 委員会は次の事業を処理する。

1. 競技会への審判員派遣に関する基本方針を確立すること。
2. 審判員養成および研修事業に関すること。
3. 審判資格修得および更新に関すること。
4. その他、競技規則および審判に関する必要な事項。

第3条 委員会は、次の委員をもって組織する。ただし、必要に応じ臨時の委員を置くことができる。

1. 全国9地区(ブロック)の審判委員会委員長および専門部長が常任委員の中から指名する若干名の委員。
2. 全国専門委員長会で推薦された若干名の委員。

第4条 委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。

第5条 委員長および副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。

第6条 委員長は委員会を代表し、委員会の会務を掌握する。

第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。

第9条 委員会は委員長が招集し、その議長となる。

第10条 委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、委員会の承認を受ける。

第11条 緊急事項で委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は平成元年7月27日より施行する。

強化委員会規程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条にもとづき強化委員会(以下委員会と称する)を設ける。

第2条 委員会は次の事業を処理する。

1. 強化ならびに普及活動に関する計画立案と、その推薦および指導に関すること。
2. 国際競技等に代表選手を派遣すること。
3. 指導者の養成および活動に関すること。
4. その他、強化、普及に関する必要な事項。

第3条 委員会は、次の委員をもって組織する。

1. 委員会において推薦された若干名の委員。
2. 部長が常任委員の中から指名した若干名の委員。

第4条 委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。

第5条 委員長および副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。

第6条 委員長は委員会を代表し、委員会の会務を掌握する。

第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。

第9条 委員会は委員長が招集し、その議長となる。

第10条 委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、委員会の承認を受ける。

第11条 緊急事項で委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は昭和58年8月1日より施行する。

平成元年7月27日一部改正。

事務局長規程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第14条にもとづき事務局に関する規定を定める。

第2条 事務局は次の事業を処理する。

1. 全国高等学校体育連盟との連絡等に関する事。
2. 各大会における関係機関への連絡等に関する事。
3. 全日本アーチェリー連盟と各都道府県アーチェリー協会(連盟)との連絡等に関する事。
4. 各都道府県高等学校体育連盟アーチェリー専門部との連絡に関する事。
5. 会員登録に関する事。
6. その他部長が指定する事項を処理する。

第3条 事務局に次の職員を置く。

事務局長 1名 事務員 若干名

第4条 事務局長は、事務局を統轄し、事務局員を指導監督する。

第5条 事務局員の数並びにその任命は常任委員会の承認を得て事務局長が行う。

第6条 事務局員は、事務局長の命を受け、本部会の事務を処理する。

第7条 事務局長の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。

附則 この規程は平成元年7月27日より施行する。

アーチェリー専門部表彰 規 程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部（以下専門部と称する）では、表彰に関する規程を次の通り定め、その該当者に対し表彰する。

第2条 この規程は全国高等学校体育連盟アーチェリー競技の普及振興に功績があった者等に対し表彰を行うとともに、全国高等学校体育連盟表彰規程の被表彰者の推薦母体に資することを目的とする。

第3条 前条に定める被候補は、次の各号から推薦するものとする。

1. 全国高等学校体育連盟専門部長・専門委員長。
2. 各都道府県専門部長・専門委員長。
3. その他。

第4条 表彰者の選考は部長・副部長・委員長・副委員長・事務局長があたり、常任委員会の承認を受けるものとする。

第5条 表彰は、常任委員会または全国高等学校アーチェリー選手権大会において行う。

第6条 本規程表彰者推薦のための基準は次の通りとし、重複表彰はしない。

1. 全国高等学校体育連盟専門部長・専門委員長。
2. 各都道府県専門部長・専門委員長。
3. その他、特に功績のあった者。

第7条 推薦手続きは毎年4月中旬・10月中旬までに本専門部事務局宛に提出する。

第8条 経費は本専門部一般会計より支出する。

附則 この規程は昭和58年8月1日より施行する。

平成元年7月27日一部改正。

アーチェリー専門部慶弔 規 程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部（以下「専門部」と称する）では、慶弔に関する規程を次の通り定め、その該当者に対し敬意を表わすことができる。

第2条 その基準と範囲は次のとおりとする。

1) 慶事に関して

ア) 功績者および関係役員等が、他からの栄誉を称えられた場合。

2) 弔事に関して

ア) 功績者および関係役員等に不幸が生じた場合。

3) 範囲

ア) 記念品または弔慰金等およびこれらの電文とする。

第3条 その他、この規程に定めない特別の場合については、常任委員会の承認を得て敬意を表すことができる。

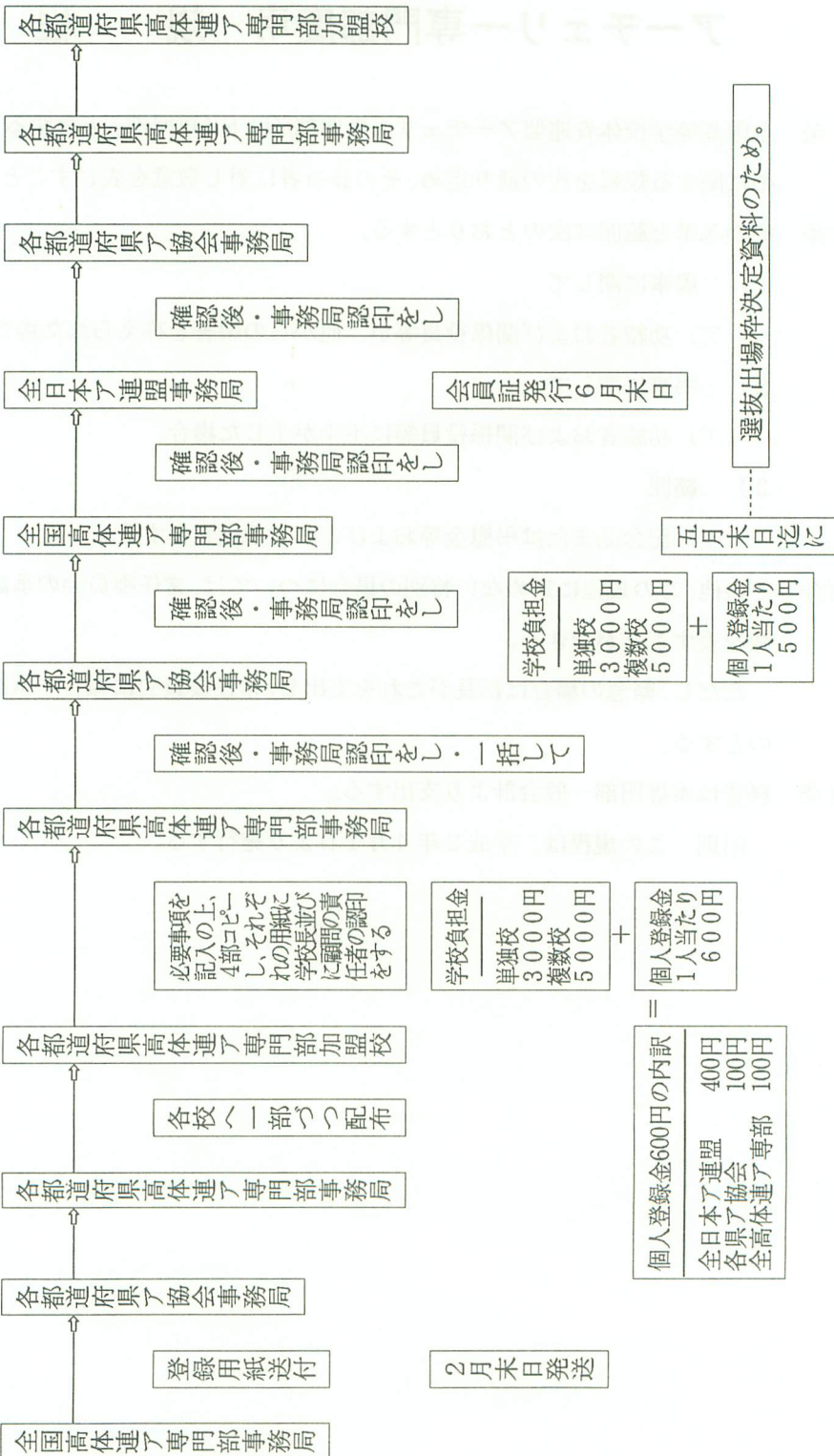
ただし、緊急の場合は部長がこれを支出し、常任委員会に報告・承認を得るものとする。

第4条 経費は本専門部一般会計より支出する。

附則 この規程は、平成2年4月1日より施行する。

全国高等学校体育連盟ア専門部・全日本ア連盟 登録届用紙の流れの順序について

平成2年度用



資料 №. 1

指定都道府県番号表

指 定 都道府 番 号	都道府県名	指 定 都道府 番 号	都道府県名	指 定 都道府 番 号	都道府県名
1	北海道	17	長野	33	岡山
2	青森	18	富山	34	広島
3	岩手	19	石川	35	山口
4	宮城	20	福井	36	香川
5	秋田	21	静岡	37	徳島
6	山形	22	愛知	38	愛媛
7	福島	23	三重	39	高知
8	茨城	24	岐阜	40	福岡
9	栃木	25	滋賀	41	佐賀
10	群馬	26	京都	42	長崎
11	埼玉	27	大阪	43	熊本
12	千葉	28	兵庫	44	大分
13	東京	29	奈良	45	宮崎
14	神奈川	30	和歌山	46	鹿児島
15	山梨	31	鳥取	47	沖縄
16	新潟	32	島根		

19 年 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部・全日本アーチェリー連盟会員登録届

(頁 /)

所属	都・道・府・県 ア 高体連専門部 協会 (連盟)		加盟団体登録番号	第 H 号
学校名	都・道・府立 県・市・私		学 校 長 名	印
所在地	〒□□□-□□			
番 号	[] ()	FAX. 頁	[] ()	
顧問名	代表者 印・			

女 子					男 子				
登録番号	氏 名	学年	年齢	生 年 月 日	登録番号	氏 名	学年	年齢	生 年 月 日
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・
H -				・ ・	H -				・ ・

種 別	人数	女子	男子	合計	金 額	チェック	県高体連ア専部	都道府県ア協	全高体連ア部	全日本ア連盟
							月 日	月 日	月 日	月 日
単 独 校	女子	1年			単独校負担金 = 3000円 複数校負担金 = 5000円 500円 × 人 = 円	受付月日				
		2年				担当者名				
		3年				確認認印	印	印	印	印
複数校	合計				合計金額 = 円	備 考				

- ★(1) 記入は、楷書で黒ボールペンを使用してください。また、数字はアラビア数字で記入してください。
- (2) 登録届用紙は、各学校で原本1部（朱印の上）を作成し、4部をコピーして必ず5部全てを送付のこと。
 5部の内訳：全日本アーチェリー連盟提出……………1部 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部用……………1部
 各都道府県アーチェリー協会（連盟）…1部 各加盟高等学校用……………1部
 各都道府県高等学校体育連盟アーチェリー専門部事務局……………1部
- (3) 登録届提出先：〒153 東京都目黒区駒場1～35～32 東京工業高等学校内 「全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部」事務局

学校登録番号一覧表

(太字都道府県名は、高体連加盟)

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	備 考
北海道 16校	01H01	道立 札幌 月寒 高	062	札幌市豊平区西岡4条4丁目9-22	011-851-3111	
	01H02	市立 札幌啓北商業高	005	札幌市南区石山1条2丁目15-1	011-591-2024	
	01H03	道立 小樽 潮陵 高	047	小樽市潮見台2-1-1	0134-22-0754	
	01H04	函館ラサール高	041	函館市日吉町1-12-1	0138-52-0365	
	01H05	道立 室蘭 清水丘 高	051	室蘭市増市町 2 丁目 6 番16号	0143-23-1221	
	01H06	道立 登 別 南 高	059	登別市青葉町42-1	01438-5-8586	
	01H07	道立 旭 川 南 高	071-01	旭川市西神楽 4 線 6 号	0166-65-8770	
	01H08	道立 清 水 高	089-01	上川郡清水町北 2 西2-2	01566-2-2156	
	01H09	道立 帯 広 三 条 高	080-24	帯広市西23条2-12	0155-37-5501	
	01H10	道立 帯 広 工 業 高	080	帯広市南町南 8 線西24-1	0155-48-5650	
	01H11	道立 幕 別 高	089-06	中川郡幕別町南町81	0155-54-2159	
	01H12	道立 札幌 西 高	064	札幌市中央区宮ノ森4条8丁目1	011-611-4401	
	01H13	道立 札幌 啓 成 高	004	札幌市白石区厚別町東4条8-6-1	011-898-2311	
	01H14	道立 札幌 開 成 高	065	札幌市東区北22条東21	011-781-8171	
	01H15	道立 旭 川 北 高	070	旭川市花咲町 3 丁目	0166-51-4620	
	01H16	道立 旭 川 工 業 高	078	旭川市西神楽 3 線 5 号	0166-65-4115	
	01H17					
	01H18					
青森県 11校	02H01	県立 三本木農業高	034	十和田市大字相坂字高清水78-92	0176-23-5341	
	02H02	県立 藤 崎 園 芸 高	038-38	南津軽郡藤崎町大字藤崎字下袋7-10	0172-75-3332	
	02H03	八戸工業大学第二高	031	八戸市大字妙字大開67	0178-25-4311	
	02H04	県立 む つ 工 業 高	039-51	むつ市文京町22-7	0175-24-2164	
	02H05	八戸工業大学第一高	031	八戸市白銀町右岩渕通り7-10	0178-33-5121	
	02H06	県立 名久井農業高	039-05	三戸郡名川町大字名久井字下諏訪平1	0178-76-2215	
	02H07	県立 青 森 西 高	030-02	青森市大字新城字平岡266-20	0177-88-0372	
	02H08	県立 青 森 東 高	039-35	青森市大字原別字遠山13	0177-36-2444	
	02H09	青 森 山 田 高	030	青森市浜田字板橋23	0177-39-2001	
	02H10	県立 青 森 中 央 高	030	青森市大字浦町字奥野428	0177-39-5135	
	02H11	県立 五 戸 高	039-15	三戸郡五戸町字根岸6	0178-62-2828	
	02H12					
	02H13					
岩手県 3 校	03H01	県立 盛 岡 工 業 高	020	紫波郡都南村大字羽場第18地割松崎	0196-38-3141	
	03H02	盛岡白百合学園高	020	盛岡市山岸 4 丁目29番16号	0196-61-6330	
	03H03	県立 住 田 高	029-23	気仙郡住田町世田米字川口12-1	0192-38-3141	
	03H04					
	03H05					
宮城県 2 校	04H01	市立 仙 台 工 業 高	983	仙台市宮城野区宮城野3-1	022-237-5341	
	04H02	東 陵 高	988	気仙沼市字大峠1-1	0226-23-3100	
	04H03					
	04H04					

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	備 考
秋田県	05H01 05H02					
山形県 7校	06H01 06H02 06H03 06H04 06H05 06H06 06H07 06H08 06H09	日本大学山形高 天真学園高 県立鶴岡南高 県立鶴岡北高 県立鶴岡家政高 県立鶴岡工業高 県立山添高	990 998 997 997 997 997 997-03	山形市鳥居ヶ丘4-55 酒田市浜田1-3-47 鶴岡市若葉町26-31 鶴岡市若葉町16-23 鶴岡市新形町16-20 鶴岡市家中新町8-1 東田川郡櫛引町大字上山添字文栄38	0236-41-6632 0234-22-4733 0235-22-0061 0235-22-2262 0235-22-1200 0235-22-5505 0235-57-2100	
福島県	07H01 07H02					
茨木県	08H01 08H02					
栃木県 1校	09H01 09H02 09H03	県立馬頭高	324-06	那須郡馬頭町馬頭1299-2	0287-92-2009	
群馬県 8校	10H01 11H02 10H03 10H04 10H05 10H06 10H07 10H08 10H09 10H10	県立沼田女子高 県立藤岡北高 県立沼田高 県立太田高 県立安中実業高 県立館林女子高 県立桐生西高 私立高崎商科短期大学付属高	378 375 378 373 379-01 374 376 370	沼田市片倉内町753-3 藤岡市篠塚90 沼田市西原新町1510 太田市西本町12-1 安中市安中1-2-8 館林市尾曳町6-1 桐生市相生町3-551-1 高崎市大橋町237-1	0278-22-4495 0274-22-2308 0278-23-1313 0276-31-7181 0273-81-0227 0276-72-0139 0277-52-2455 0273-22-2827	
埼玉県 8校	11H01 11H02 11H03 11H04 11H05 11H06 11H07 11H08 11H09 11H10 11H11	大宮開成高 県立豊岡高 県立行田高 県立所沢中央高 春日部共栄高 花咲徳栄高 県立上尾橘高 県立日高高	330 358 361 359 344 347 362 350-12	大宮市堀之内1-615 入間市豊岡1-15-1 行田市大字長野1320 所沢市並木8-2 春日部市上大増新田213 加須市花崎江橋519 上尾市大字平方2187-1 入間郡日高町旭ヶ丘806	0486-41-7161 0429-62-5216 0485-56-6291 0429-95-6088 048-737-7611 0480-65-7181 048-725-3725 0429-89-7920	
千葉県 12校	12H01 12H02	県立京葉高 聖書学園千葉英和高	290 276	市原市島野222 八千代市村上709-1	0436-22-2196 0474-84-5141	

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	備 考
	12H03	県立津田沼高	275	習志野市秋津5-9-1	0474-51-1177	
	12H04	県立磯辺高	260	千葉市磯辺2-7-1	0472-77-2211	
	12H05	県立松戸矢切高	271	松戸市中矢切54	0473-68-4741	
	12H06	県立姉崎高	299-01	市原市姉崎2632	0436-62-0601	
	12H07	県立流山中央高	270-01	流山市大畔275-5	0471-54-3551	
	12H08	県立生浜高	260	千葉市塩田町372	0472-66-4591	
	12H09	県立船橋高	273	船橋市東船橋6-1-1	0474-22-2188	
	12H10	八街学園高	289-11	印旛郡八街町八街ほ625	0434-43-3221	
	12H11	拓殖大学紅陵高	292	木更津市桜井1403	0438-37-2511	
	12H12	県立泉高	280-01	千葉市高根町875-1	0472-28-2551	
	12H13					
	12H14					
東京都	13H01					
24校	13H02	四谷商業高	165	中野区上鷲宮5-11-1	03-990-4226	
	13H03	明治大学付属中野高	164	中野区東中野3-3-4	03-362-8704	
	13H04	駒場東邦高	154	世田谷区池尻4-5-1	03-466-8221	
	13H05	東京工業高	153	目黒区駒場1-35-32	03-467-2130	
	13H06	玉川学園高等部	194	町田市玉川学園6-1-1	0427-28-3503	
	13H07	都立山崎高	194-01	町田市山崎町字9号1453-1	0427-92-2891	
	13H08	学習院高等科	171	豊島区目白1-5-1	03-986-0221	
	13H09	麻布学園高	106	港区元麻布2-3-29	03-446-6541	
	13H10	獨協高	112	文京区関口3-8-1	03-943-3651	
	13H11	慶応義塾女子高	108	港区三田2-17-23	03-451-3618	
	13H12	武蔵野高	114	北区西ヶ原4-56-20	03-910-0151	
	13H13	東海大学高輪台高	108	港区高輪2-2-16	03-441-8234	
	13H14	早稲田大学高等学院	177	練馬区上石神井3-31-1	03-928-4251	
	13H15	城北高	174	板橋区東新町2-28	03-956-3157	
	13H16	足立高	120	足立区千住旭町40-24	03-888-5331	
	13H17	淑徳高	174	板橋区前野町5-14-1	03-969-7411	
	13H18	都立大山高	173	板橋区小茂根5-18-1	03-958-2121	
	13H19	昭和第一工業高	190	立川市栄町2-45-8	0425-36-1611	
	13H20	国際基督教大学高	184	小金井市東町1-1-1	0422-33-3401	
	13H21	都立第四商業高	176	練馬区貫井3-45-19	03-990-4221	
	13H22	日体桜華女子高	189	東村山市富士見町2-5-1	0423-91-4133	
	13H23	明治学院東村山高	189	東村山市富士見町1-12-38	0423-91-2142	
	13H24	都立館高	193	八王子市館町1097-136	0426-63-3315	
	13H25					
	13H26					
	13H27	都立野津田高	194-01	町田市野津田町200	0427-34-2311	
	13H27					
	13H28					

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	備 考
神奈川県 15校	14H01	横 浜 高	236	横浜市金沢区能見台通47-1	045-781-339	
	14H02					
	14H03	県立 緑ヶ丘 高	231	横浜市中区本牧緑ヶ丘37	045-621-8641	
	14H04	浅 野 高	221	横浜市神奈川区子安台1-3-1	045-421-3281	
	14H05	三 浦 高	239	横須賀市衣笠栄町3-80	0468-52-0284	
	14H06	市立 横 須 賀 高	238	横須賀市森崎5-1-1	0468-36-0413	
	14H07	県立 東 金 沢 高	236	横浜市金沢区富岡東2-6-1	045-774-1188	
	14H08	県立 小田原城内高	250	小田原市南町1-6-34	0465-23-3251	
	14H09	湘南高校通信制少年工科学校	238-03	横須賀市幸浜2-1	0468-56-1291	
	14H10	平和学園高	253	茅ヶ崎市富士見町5-2	0467-87-0132	
	14H11	東海大学付属相模高	228	相模原市相南3-33-1	0427-42-1251	
	14H12	慶 応 義 塾 高	223	横浜市港北区日吉4-1-2	044-63-1111	
	14H13	横浜学園高	235	横浜市磯子区岡村2-4-1	045-751-6941	
	14H14	県立 永 谷 高	233	横浜市港南区下永谷町625-1	045-252-5348	
	14H15	市立 南 高	233	横浜市港南区東永谷町2-1-1	045-822-1910	
	14H16	県立 上 矢 部 高	245	横浜市戸塚区上矢部町3230	045-861-3500	
	14H17					
	14H18					
山梨県 5校	15H01	県立 甲 府 第 一 高	400	甲府市美咲2-13-44	0552-53-3525	
	15H02	山 梨 英 和 高	400	甲府市愛宮町112	0552-52-6184	
	15H03	甲 府 湯 田 高	400	甲府市青沼3-10-1	0552-33-0127	
	15H04	県立 農 林 高	400-01	中巨摩郡竜王町西八幡4533	0552-76-2611	
	15H05	県立 機 山 工 業 高	400	甲府市下飯田1-9-1	0552-28-7281	
	15H06					
	15H07					
新潟県 2校	16H01	県立 長 岡 工 業 高	940	長岡市幸町2-7-70	0258-36-4510	
	16H02	敬 和 学 園 高	950-31	新潟市太夫浜325	025-259-2391	
	16H03					
	17H04					
長野県	17H01					
	17H02					
富山県	18H01					
	18H02					
石川県 2校	19H01	県立 柳 田 農 業 高	928-03	鳳至郡柳田村字柳田倍93	0768-76-1211	
	19H02	県立 金 沢 向 陽 高	920-01	金沢市大場町590	0762-58-2355	
	19H03					
	19H04					
福井県 4校	20H01	県立 丹 南 高	916	鯖江市熊田町10-7	0778-62-2112	
	20H02	県立 金 津 高	919-06	坂井郡金津町南金津33	0776-73-1255	
	20H03	敦 賀 気 比 高	914	敦賀市杵見164-1	0770-24-2150	
	20H04	県立 高 志 高	910	福井市御幸 2-25-8	0776-24-5175	

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	備 考
	20H05 20H06					
静岡県 13校	21H01 21H02 21H03 21H04 21H05 21H06 21H07 21H08 21H09 21H10 21H11 21H12 22H13 22H14 22H15	県立 修善寺工業高 静岡県富士見高 県立 静岡商業高 県立 袋 井 高 県立 浜松工業高 県立 浜松商業高 信愛学園高 興 誠 高 県立 浜松北高 県立 浜松湖東高 県立 三ヶ日高 県立 天竜林業高 静 岡 北 高	410 416 420 437 433 432 430 430 432 431 431 431-33 420	田方郡修善寺町牧之郷892 富士市平垣町1-1 静岡市田町7-90 袋井市愛野2446-1 浜松市初生町1150 浜松市文丘町4-11 浜松市下池川町34-3 浜松市高林1-17-2 浜松市広沢1-30-1 浜松市大人見町3600 引佐郡三ヶ日町釣78-1 天竜市二俣町二俣601 静岡市瀬名3240	0558-72-3322 0545-61-0250 0542-55-6241 0538-42-0191 0534-36-1101 0534-71-3351 0534-71-5336 0534-71-4136 0534-54-5548 0534-85-0215 0535-25-0103 05392-5-3139 0542-61-5801	
愛知県 12校	22H01 22H02 22H03 22H04 22H05 22H06 22H07 22H08 22H09 22H10 22H11 22H12 22H13 22H14 22H15	愛 知 高 愛知工業大学名電高 愛西学園弥富高 愛知女子高 東海学園東海女子高 東 海 高 東 邦 高 県立 安 城 高 県立 三 河 高 桜 丘 高 県立 衣 台 高 県立 西 尾 東 高	464 464 498 451 468 461 465 446 444 440 471 445	名古屋市千種区光が丘2-11-41 名古屋市千種区若水3-2-12 海部郡弥富町稻吉41 名古屋市西区新道1-23-15 名古屋市天白区天白町平針黒岩 名古屋市東区筒井1-2-35 名古屋市名東区平和が丘3-11 安城市北山崎町大土塚10 岡崎市岡町字原山12-10 豊橋市南牛川2-1-11 豊田市太平町平山5番地 西尾市小島町大郷1-4	052-721-1521 052-721-0311 0567-68-2233 052-571-8422 052-801-6222 052-936-5111 052-782-1171 0566-74-1231 0564-48-5211 0532-61-6421 0565-33-1080 0563-56-1911	
三重県 2校	23H01 23H02 23H03 23H04	三 重 高 暁 高	515 512	松阪市久保町梅村3 四日市市萱生町城山238	0598-29-2959 0593-37-2345	
岐阜県	24H01 24H02					
滋賀県 11校	25H01 25H02 25H03	県立 大津商業高 県立 大 津 高 県立 栗 東 高	520 520 520-30	大津市御陵町2-1 大津市馬場1-1-1 栗太郡栗東町小野618	0775-24-4284 0775-23-0386 0775-53-3350	

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	備 考	
	25H04	市立 守 山 女 子 高	524	守山市勝部町962	0775-82-2019		
	25H05	県立 甲 南 高	520-33	甲賀郡甲南町寺庄427	0748-86-4145		
	25H06	県立 八 幡 商 業 高	523	近江八幡市宇津呂町10	0748-32-2436		
	25H07	県立 愛 知 高	529-13	愛知郡愛知川町愛知川102	0749-43-2150		
	25H08	県立 伊 吹 高	521-02	坂田郡山東町朝日302	0749-55-2350		
	25H09	県立 長 浜 商 工 高	526	長浜市地福寺町3-72	0749-62-3370		
	25H10	県立 虎 姫 高	529-01	東浅井郡虎姫町宮部2410	0749-73-3055		
	25H11	県立 北 大 津 高	520-02	大津市仰木町南嶋	0755-73-5881		
	25H12						
	25H13						
	京都府 7校	26H01	私立 同 志 社 高	606	京都市左京区岩倉大鷲町	075-781-7121	
		26H02	私立 同志社女子高	602	京都市上京区今出川通寺町西入	075-251-4305	
26H03		私立 福知山商業高	620	福知山市字堀水内	0773-22-6224		
26H04		市立 洛 陽 工 業 高	601	京都市南区唐橋大宮尻町22	075-691-3161		
26H05		市立 紫 野 高	603	京都市北区紫野大徳寺町22	075-491-0221		
26H06		府立 木 津 高	619-02	相楽郡木津町木津	07747-2-0031		
26H07		府立 兔 道 高	611	宇治市五ヶ庄五雲峰4-1	0774-33-1691		
26H08							
26H09							
大阪府 15校	27H01	府立 和 泉 工 業 高	594	和泉市富秋町33	0725-41-1250		
	27H02	大 阪 高	533	大阪市東淀川区相川2-18-51	06-340-3031		
	27H03	大阪工業大学高	535	大阪市旭区大宮5-16-1	06-952-3131		
	27H04	大阪女子商業高	543	大阪市阿倍野区天王寺町南2-8-19	06-719-2801		
	27H05	関 西 大 倉 高	567	茨木市室山2-14-1	0726-43-6321		
	27H06	市立 岸和田産業高	596	岸和田市別所町541	0724-22-4861		
	27H07	府立 久 米 田 高	596	岸和田市額原町	0724-43-6651		
	27H08	此 花 学 院 高	544	大阪市生野区勝山南2-6-38	06-716-0003		
	27H09	帝塚山学院高	558	大阪市住吉区帝塚山中3-10-51	06-672-1151		
	27H10	浪 速 工 業 高	566	摂津市三島3-5-36	06-381-0220		
	27H11	府立 西野田工業高	553	大阪市福島区大開2-17-62	06-461-0023		
	27H12	初 芝 高	591	堺市日置荘西町51	0722-85-0128		
	27H13	桃 山 学 院 高	545	大阪市阿倍野区昭和町3-1-64	06-621-1181		
	27H14	府立 山 本 高	581	八尾市山本町北1-1-44	0729-99-0552		
	27H15	府立 工業高等専門学校	572	寝屋川市幸町26-12	0720-21-6401		
	27H16						
	27H17						
兵庫県 16校	28H01	滝 川 高	654	神戸市須磨区宝田町2-1-1	078-732-1625		
	28H02	須磨ノ浦女子高	654	神戸市須磨区行幸町2-7-3	078-731-6637		
	28H03	甲 南 高	659	芦屋市山手町31-3	0797-31-0551		
	28H04	市立 琴 丘 高	670	姫路市今宿668	0792-92-4925		
	28H05	県立 星 陵 高	655	神戸市垂水区星陵台4-3-2	078-707-6565		

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	備 考
	28H06	夙川学院高	662	西宮市神園町2-20	0798-74-5061	
	28H07	松 蔭 高	657	神戸市灘区青谷町3-4-47	078-861-1105	
	28H08	甲南女子高	658	神戸市東灘区森北町5-6-1	078-411-2531	
	28H09	神戸山手女子高	650	神戸市中央区諏訪山町6-1	078-341-6050	
	28H10	県立舞子高	655	神戸市垂水区学が丘3-2	078-783-5151	
	28H11	県立姫路東高	670	姫路市本町68	0792-85-1166	
	28H12	県立夢野台高	653	神戸市長田区房王寺町2-1-1	078-691-1546	
	28H13	須磨女子高	654	神戸市須磨区板宿町3-15-14	078-732-1968	
	28H14	滝川第二高	673-02	神戸市西区平野町下村字平瀬436-1	078-961-2381	
	28H15	県立西宮甲山高	662	西宮鷲林寺剣谷10	0798-74-2460	
	28H16	神戸女子商業高	653	神戸市長田区腕塚町6-1-22	078-611-1143	
	28H17					
	28H18					
奈良県 2校	29H01	県立奈良高	630	奈良市法蓮町836	0742-23-2855	
	29H02	天理高	632	天理市袖之内町1260	07436-3-1511	
	29H03					
	29H04					
和歌山県 1校	30H01	県立貴志川高	640-04	那賀郡貴志川町長原400	0736-64-2500	
	30H02					
	30H03					
鳥取県 6校	31H01	米子北高	683	米子市米原523	0859-22-9371	
	31H02	県立倉吉農業高	682	倉吉市大谷166	0858-28-1341	
	31H03	県立倉吉東高	682	倉吉市下田中町801	0858-22-5205	
	31H04	県立鳥取商業高	680	鳥取市湖山町北2-401	0857-28-0156	
	31H05	県立鳥取東高	680	鳥取市立川町5-210	0857-22-8495	
	31H06	県立倉吉産業高	682	倉吉市上井430	0858-26-0031	
	31H07					
	31H08					
島根県 1校	32H01	県立松江東高	690	松江市西川津町字宮尾510	0852-27-3700	
	32H02					
	32H03					
岡山県 3校	33H01	岡山理大付属高	700	岡山市理大町1-1	0862-52-3161	
	33H02	新見女子高	718	新見市新見2032-4	0867-72- ⁰⁵²⁶ ₂₈₅₅	
	33H03	高梁日新高	716	高梁市内山下150	0866-22-3466	
	33H04					
	33H05					
広島県 15校	34H01	尾道高	722	尾道市栗原町1268-1	0848-23-2312	
	34H02	広島大学付属福山高	721	福山市春日町吉田	0849-41-8350	
	34H03	市立呉豊栄高	737	呉市阿賀中央5-13-56	0823-72-5577	
	34H04					
	34H05	県立呉宮原高	737	呉市宮原3-1-1	0823-21-9306	

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	備 考	
	34H06	県立海田高	736	安芸郡海田町つくも町1-60	082-822-3030		
	34H07	県立加計高	731-35	山県郡加計町加計3780-1	08262-2-0488		
	34H08	山陽高	733	広島市西区観音新町4-12-5	082-232-9156		
	34H09	修道高	730	広島市中区南千田西町8-1	082-241-8291		
	34H10						
	34H11	県立広島工業高	734	広島市南区出汐2-4-75	082-254-1421		
	34H12	国立広大付属高	734	広島市南区翠1-1-1	082-251-0191		
	34H13	県立広島皆実高	734	広島市南区出汐2-4-76	082-251-6441		
	34H14	県立可部高	731-02	広島市安佐北区可部3-15-26	082-814-2032		
	34H15	山陽女子高	738	廿日市市佐方本町1-1	0829-32-2221		
	34H16	県立因島北高	722-21	因島市垂井町長浜	08452-4-1281		
	34H17	英数学館高	721	福山市引野字日和980-1	0849-41-4115		
	34H18						
	34H19						
	山口県 7校	35H01	県立久賀高	742-23	大島郡久賀町4851-2	08207-2-0024	
		35H02	県立下関西高	751	下関市後田町4-10-1	0832-22-0892	
		35H03	聖光高	743	光市光井緑ヶ丘	0833-72-1187	
		35H04	県立田布施工業高	742-15	熊毛郡田布施町大字麻郷奥127	0820-48-2306	
		35H05	県立田布施農業高	742-15	熊毛郡田布施町大字波野	0820-52-2157	
35H06		県立西京高	753	山口市大字黒川2580-1	0839-23-8508		
35H07		県立華陵高	744	下松市朱武上屋称下	0833-44-1285		
35H08							
35H09							
香川県 2校	36H01	県立高松西高	761	高松市鬼無町山口257-1	0878-82-6411		
	36H02	県立観音寺醍一高	768	観音寺市観音寺町甲648-1	0875-25-4155		
	36H03						
	36H04						
徳島県 2校	37H01	県立徳島工業高	770	徳島市北矢三町2-1-1	0886-31-4185		
	37H02	県立鳴門高	772	鳴門市撫養町斉田字岩崎135-1	0886-85-3217		
	37H03						
	37H04						
愛媛県	38H01						
	38H02						
高知県 1校	39H01	県立高知小津高	780	高知市城北町1-14	0888-22-5270		
	39H02						
	39H03						
福岡県 4校	40H01	県立柏陵高	815	福岡市南区大字柏原4-47-1	092-566-3232		
	40H02	県立折尾高	807	北九州市八幡西区大膳2-23-1	093-691-3561		
	40H03	県立門司北高	800-01	北九州市門司区猿喰1462-2	093-481-4673		
	40H04						
	40H05	小倉女子商業高	803	北九州市小倉区皿山町15-1	093-561-1334		

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	備 考
佐賀県 1校	41H01	県立佐賀農芸高	840-02	佐賀郡大和町尼寺1698	0952-62-1331	
	41H02					
	41H03					
長崎県 2校	42H01	県立大村工業高	856	大村市森園町1079-3	0957-52-3772	
	42H02	県立諫早東高	854-02	北高来郡森山町杉谷名317	0957-36-1010	
	42H03					
	42H04					
熊本県 3校	43H01	県立第二高	862	熊本市東町3-8	096-368-4125	
	43H02	有明高	864	荒尾市増永字長浦2200	0968-63-0958	
	43H03	東海大学第二高	862	熊本市大江町渡鹿223	096-382-1146	
	43H04					
	43H05					
大分県 7校	44H01	別府女短大付属高	874-01	別府市大字野田78	0977-66-5918	
	44H02	明星高	874	別府市野口原3088	0977-21-2090	
	44H03					
	44H04	県立鶴見丘高	874	別府市鶴見字横打4433-2	0977-21-0118	
	44H05	大分電波高	870	大分市新貝11-40	0975-58-3734	
	44H06					
	44H07					
	44H08	大分東明高	870	大分市千代町2-4-4	0975-35-0201	
	44H09	県立豊府高		大分市大字羽屋600-1	0975-46-2222	
	44H10	大分高				
	44H11					
	44H12					
宮崎県 1校	45H01	県立都城泉ヶ丘高	885	都城市妻ヶ丘町27-15	0986-23-0223	
	45H02					
	45H03					
鹿児島県 1校	46H01	県立鹿児島工業高	890	鹿児島市草牟田2-57-1	0922-22-9205	
	46H02					
	47H03					
	47H04					
沖縄県 6校	47H01	県立豊見城南高	901-02	島尻郡豊見城村字翁長520	0988-50-1951	
	47H02	県立宜野湾高	901-22	宜野湾市字真志喜268	09889-7-1020	
	47H03	県立中部商業高	901-22	宜野湾市字我如古133	09889-8-4888	
	47H04	県立前原高	904-22	具志川市字田湯1827	0989-73-3249	
	47H05	県立大平高	901-21	浦添市大平488	0988-79-3062	
	47H06	県立読谷高	904-03	読谷村字伊良皆198	0989-56-2157	
	47H07					
	47H08					

- 都道府県数 41県（内25都道府県 高体連に加盟 平成2.3月現在）
- 学校数 245校
- 新規加盟校の指定学校番号は、各都道府県で指定学校番号を付記し本連盟へ通知すること。

'89ジュニアチーム海外派遣

強化委員 朝倉基夫

《はじめに》

近年、アーチェリー競技のみならず、世界のトップに、高校生、大学生の進出がめざましい。日本国内においても、「全日本選手権」等の大会で高校生、大学生の参加が増加し、さらにその中の何人かが、上位に食い込むという活躍を見せている。

これらの状況をうけ、高校生、大学生のトップの選手に、早い機会に世界を見せ、さらに世界のトップの選手と同じシューティングラインに立つことにより、彼らが日本のトップに踊り出た時に、わが国を代表する選手として「世界的視野に立った意識」「心構え」「技量」等を身に着けていて欲しいという願いに立って海外派遣が行われている。

《構成》

海外に派遣される「Jr.チーム」の構成について説明させていただくと、「Jr.チーム」は、高校生だけで構成されているのではなく、あくまでも高校生と大学生で一つのチームが構成されている。

その選抜方法は、高校生は、高体連アーチェリー専門部強化委員会より推薦された強化選手若干名と、各県より選抜された選手が参加する「春の選抜大会」の上位者。大学生は前年の「全日本選手権」等の成績によって選抜された選手。この選手たちによって一次選考会、最終選考会と勝ち抜いた選手によって「Jr.チーム」が構成される。高校生、大学生とも約束されている枠は男女各一名である。つまり、高校生が男女一名、大学生数名が残りの枠をしめるということもありえる。

《練習》

「Jr.チーム」の合宿は、ナショナルチームと合同でおこなわれ、選手はこの合宿で、かなり「意識」の面でのトレーニングが成される。日々の練習は、選手個人の立てた練習メニューによるものの、各学校の監督・顧問にゆだねる面が多い。とくに高校生は、この時期、「全国高校選手権」「国体予選」等、各学校の練習メニューの中で、自己を研鑽することになり、かなり大変な時期になる。じつはこの時が選手にとって、最も重要な時である。選手が自分自身で、自分のことを考え、自分で練習し、自分の弓を考え、自分の学校、県を考え、そして自分が何を成すべきかを考え行動することになる。「日本代表選手」の誕生である。各顧問からの親ばなれと言えるかもしれない。生徒から選手への脱皮である。

《願い》

「生徒から選手への脱皮」。監督・顧問にとっては寂しい気持ちになるかもしれないが、高校の監督・顧問の育てた選手が、現在ナショナルチームを構成し、日本を代表する選手になっている。世界レベルの大会では、選手は一人で射たなければならない。日頃の監督・顧問の細かな指導も受けられない。シューティングライン上では誰もが一人なのである。

「ひとりで考えて射てる」。監督・顧問、そして選手自身が、それにはやく気がつき、ともに実践する必要があると思う。

これらのことは、決して自分勝手という意味ではない。「よきアーチェリー部員」としての前提がある。現在指導している生徒が、いつ世界の舞台に立つかも知れない。その時

に備えて、我々監督・顧問も「よきアーチェリー部員」であり、「ひとりで考えて射てる」選手を育ていく時期がきているのではないだろうか。

《第105回全米選手権大会 Jr.チームの成績》

男子選手

氏名	所属	順位	1st Round	2st Round
清水 徹也	慶応義塾大学	12	1,180	1,210
於久 直人	北大津高校	15	1,141	1,207
大橋 亨	東京工業高校	11	1,189	1,213

女子選手

氏名	所属	順位	1st Round	2st Round
香月 京子	福岡大学	14	1,151	1,226
井上 鹿代子	富士見高校	10	1,176	1,221
池田 裕紀子	甲南女子高校	9	1,153	1,255
長見 みどり	山陽女子高校	6	1,181	1,255
中込 恵子	日本体育大学	8	1,175	1,237

コーチ

關 政 敏 全日本アーチェリー連盟強化部専門委員
朝 倉 基 夫 全国高体連アーチェリー専門部強化委員

《第105回全米選手権大会をふりかえる》

8月6日—公式練習 はじめのうち、まとまって射っていたJr.チームも、後半になり他国の選手と会話(?)をしながら、ひとりで会場の中を歩き始める。

8月7日—1st Round開始 男子が午前、女子が午後(翌日ローテーション)と変則的な試合進行である。早朝からの試合、午後7時までの試合に選手、コーチともペースがみだれる。

8月8日—1st Round終了。全選手とも得点ののびがない。夜、ガッチリ、ミーティング！

8月9日—2st Round開始 全選手好調。「長見みどり」が60Mで325点、日本高校新だ。各選手が一人歩きを始めた。昨夜、選手一人一人が、何らかのかたちで、我々の意向をわかってくれたのだろう。そう信じたい。

8月10日—試合終了 全員の顔に、世界の舞台で射てたという、満足感が見える。

8月11日—Team Round見学 各国代表選手が3人で一つの的を射る。Jr.チームの諸君、次は君たちの番だ。この日、NAA主催のバンケットがひらかれた。目の前にタキシード姿のバースがマッキーニが……。でもJr.チームの目が、彼らを近い将来のライバルとして見ていたことを、私は感じていた。

《Jr.チームの高校生の国内での主な成績》

- 於久 直人 滋賀県立北大津高校
国民体育大会3位・'90ナショナルチーム (Jr継続)
- 大橋 亨 東京都東京工業高校
国民体育大会優勝・'90ナショナルチーム (Jr継続)

高校新 F I T A シングル=1289点

F I T A シングル70M=323点・50M=320・30M=350点

○井上 鹿代子 静岡県富士見高校

全日本選手権4位・'90ナショナルチーム

高校新 F I T A シングル30M=348点

ハーフ50・30M=653点

○池田 裕紀子 兵庫県甲南女子高

'90ナショナルチーム (Jr継続)

○長見 みどり 広島県山陽女子高校

国民体育大会優勝

高校新 F I T A シングル 60M=325点

《おわりに》

高校生・大学生が「世界で射つ」と言うことを、日常的な練習目標とする日が、まもなくやってくることを願い、Jr.チームの出身者が世界で活躍するのを期待し、筆をおくことにします。

最後になりましたが、紙面をお借りして、この度のJr.チームの合宿・海外派遣にご尽力いただきました全日本アーチェリー連盟の飯塚・秦・広瀬・關の各氏と、全国高体連アーチェリー専門部の役員の皆様にご心よりお礼申し上げます。

'89Jr.チーム



写真左側より、香月・長見・中込・井上・池田・清水・大橋・於久

1989年 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部・全日本アーチェリー連盟 登録状況一覧表

番号	都道府県名	単 独 校		複数校	女 子	男 子	総 計	備 考
		女子	男子					
1	○北海道	0	2	14	96	207	303	
2	○青森	2	4	5	39	75	114	
3	○岩手	2	1	0	36	51	87	
4	宮城	0	1	1	6	15	21	
5	秋田	0	0	0	0	0	0	
6	○山形	2	2	3	63	63	126	
7	福島	0	0	0	0	0	0	
8	茨城	0	0	0	0	0	0	
9	○栃木	0	0	1	7	10	17	
10	○群馬	4	2	2	61	50	111	
11	○埼玉	1	1	6	97	99	196	
12	○千葉	0	0	12	112	170	282	
13	○東京	4	12	8	176	320	496	
14	○神奈川	4	6	5	116	210	326	
15	○山梨	2	1	1	21	22	43	
16	新潟	0	0	2	7	22	29	
17	長野	0	0	0	4	8	12	
18	富山	0	0	0	0	0	0	
19	○石川	1	0	1	22	15	37	
20	○福井	1	0	3	44	48	92	
21	○静岡	2	4	7	107	256	363	
22	○愛知	5	5	2	70	152	222	
23	三重	1	1	0	2	6	8	
24	岐阜	0	0	0	0	0	0	
25	○滋賀	2	1	8	134	141	275	
26	○京都	1	2	4	107	90	197	
27	○大阪	2	8	5	127	214	341	
28	○兵庫	7	2	7	154	110	264	
29	○奈良	0	0	2	23	44	67	
30	和歌山	0	0	1	5	6	11	
31	○鳥取	0	1	5	70	72	142	
32	島根	0	0	1	8	6	14	
33	岡山	1	2	0	20	22	42	
34	○広島	3	2	8	140	114	254	
35	○山口	1	2	4	56	56	112	
36	香川	0	0	2	38	40	78	
37	徳島	0	0	2	13	17	30	
38	愛媛	0	0	0	0	0	0	
39	高知	0	1	0	0	2	2	
40	○福岡	2	0	2	54	38	92	
41	佐賀	0	0	1	6	9	15	
42	長崎	1	1	0	9	21	30	
43	熊本	0	1	2	22	67	89	
44	大分	3	0	0	35	6	41	
45	宮崎	1	0	0	4	0	4	
46	鹿児島	0	1	0	0	5	5	
47	○沖縄	0	0	6	52	53	105	
合 計		55	66	133	2,163	2,932	5,095	

○高体連加盟 25 245校+α

〔学校紹介〕

柏陵高校アーチェリー部

福岡県立柏陵高等学校

アーチェリー部監督 藤川 毅

本校は、昭和58年に開校した新設校で、福岡市の南、油山という風光明媚な環境に位置しています。アーチェリー部創部は、翌年の4月で、日体柔道部OBの栗田靖夫氏が、朝・放課後課外授業という全員課外授業制の進学体制の中、勉強以外にも何か生徒達が熱中し夢を持てるような部を作りたいと熱望されたことが、切っ掛けになって、折尾高校より1年早く「とびうめ国体」を機に福岡県高校の未普及スポーツを興す企画に参加したことが、本校アーチェリー部が設立された経緯であります。

創部して2年間は、弓具不足、練習場所や練習時間の確保、指導者不足等、山積みになった諸問題を抱えていましたが、栗田氏をはじめ学校やアーチェリー関係者のご尽力により今では日本一と誇れる練習場（射場S61完成、夜間照明H・I設置、倉庫・部室・作業場H・I完成）が完成し、練習量の確保と同時に、生徒達の実力も順調に伸びてきたように思います。

全国大会で優勝できたのは、このような練習場があり、国体を前に私自身が部の指導に没頭できる好環境に恵まれ、又、試合や遠征先で駆け出し監督の私に親身になって色々なことを教えていただいたアーチェリー関係者の皆様、そしてなによりも素直に真剣にアーチェリーに没頭する生徒がいるからだと思っています。だから、この原稿依頼が来た時は、正直いって大変困りました。練習内容や指導法などは、若年26歳の駆け出し監督の私には、これといった物はまだありません。しかし、ここ2年間の部活の指導が以前よりも私の中で充実した物になっていることは感じていますので、勇気を出して書いてみようと思いません。

当時、私は大学4年間アーチェリーに接することができ、三流アーチャーでしたが現役選手としてやっていました。昭和61年、卒業後すぐに教壇に立ち、同時に部員数44名（男23女21）の部を見ることになった時から2年間、部の実績をあげるため躍起になって指導をしました。自分の練習をしたい気持ちを抑えて、部員を指導することに夢中になってしまいました。その結果、悩むばかりで、アーチェリーが次第に面白くなり、熱意も研究心も薄れてきたのです。部の実績もあまり伸びず、指導についてこれない部員すら出てしまいました。結局、無理強いさせていたのでしょう。部員を育てようとする意気込みが逆に、私と部員たちのアーチェリーに対する意欲と熱意を半減させていたのです。恥ずかしい話ですが、アーチェリーを教える指導者がアーチェリーに対する熱意を失いかけていたのです。部の方針や伝統を作っていくためには、このような時期が必要かもしれません

が、あまりにも犠牲が大きかったように思います。そんな経験をして、3年目からは私自身、国体強化選手(競技者)としてアーチェリーを再び始めたところ、部員と共に楽しく、効率よくアーチェリーをできるようになりました。

指導者と選手の両立は難しいかもしれませんが、しかし、部員と同じ競技者としての経験やアーチャーとしての熱意の方が、駆け出し監督の100の助言よりも部員には通ずる物が大きかったのです。

○先生と生徒ではなく、一時でもアーチャーとアーチャーの会話は大変楽しく、部員たちの指導に役立ちます。

○アドバイスを聞く部員たちの目も輝いています。

○練習中、部員と時々する勝負も勝ち負け関係なしに、ワイワイガヤガヤ、生徒の真剣になった目、楽しいです。緊張のなかでの練習、ワクワクします。

○「休みになったら、20時間耐久練習やろうか!」「俺も付き合う」「先生やりましょう」嬉しくなります。

○試合中の選手の心理状態、風の計算、自分も競技者ならよく分かります。

私には、まだまだベテラン監督の真似はできません。自分のアーチェリーをしたい気持ちを抑えないで、存分にアーチェリーしようと思っています。3時間の練習であれば、自分が射っていない1時間だけ指導をします。気になる部員がいれば、その子の前と後で射ってやり、実践指導をしてやります。監督が熱心に練習している姿が、部員たちにマイナスになる訳がありません。部員と一緒に楽しくアーチェリーをして、自分の技能を高めることは、長い目で見て、今後必ず指導に役立つことでしょう。

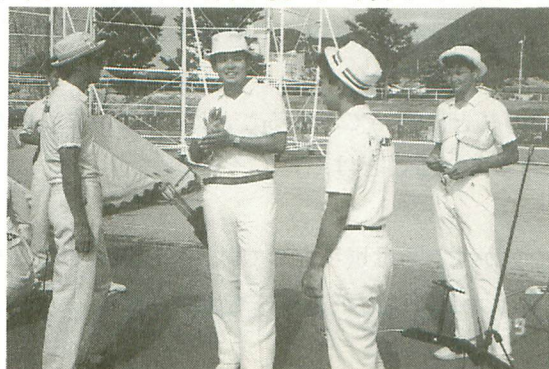
「お互い選手として、いい思いをしよう!」を合い言葉に、これからも頑張っていきたいと思います。私と同じ若い駆け出し監督の皆さん、監督兼選手として、試合会場でお会いできる日を楽しみにしています。

*平成元年度部員数

	男子	女子
1年	5名	6名
2年	6名	8名
3年	5名	0
	16名	14名

◎平成元年度「はまなす国体」

九州ブロック大会終了後の少年男子との団らん



我が部の育成

北海道旭川北高等学校

アーチェリー部監督 佐藤 正志

本校のアーチェリー部は創部して四年という、まだ歴史の浅いクラブであります。

私は、教職三十年間の大半をスキー部の指導にあたっており、アーチェリーに関しては、射っているところさえも見たこともなかった、まったくの門外漢であります。その私がアーチェリーと出会い、部を見るようになった、いきさつは平成元年に開催された、「はまなす国体」にアーチェリー競技が実施されるため、地元旭川から一人でも選手をだしたいという地区社会の願いと、旭川協会の強い熱意にほだされたのが始まりでした。

創部した頃は協会のコーチが技術指導しやすい体制をつくり、入部した、ばかりの部員いかに真剣な態度で練習にとりくませるかに重点をおいてきましたが、やはり部活動の指導は顧問がすべきであると痛感いたしました。

また、どの競技でもいえることですが、実際に生徒を指導する場合、その競技を経験し実践しなければ満足な指導が出来ない面がおうおうにしてあるのではないのでしょうか。

そのためには自分自身で射って実感をしっかりと確かめることが最善であると思い、二年前から部員と一緒に練習をしておりますが、射つごとにアーチェリーの奥の深さ、難しさに直面しております。

幸いにして部員の練習状況は真面目にとりくんでおり、全員が大学進学という目標をもっているため、それらを優先して練習をしておりますが、理由なくして休む者は皆無に近く途中いや気がさして退部するケースも極めて稀であります。このようなことで本校のアーチェリー部が僅かながらでも成長をとげてきたという評価が許されるなら、その原因の一つに部員の熱心さと真面目さをあげることができます。

現在部員数は三年生10名がぬけて二年男子5名・一年女子3名・計13名の部員が来るシーズンにむけて一丸となって練習をしておりますが、特に冬季間は学校内では射つことができませんので市総合体育館が使用できる日にもよりますが、週放課後、18mを一時間半を二回、土曜日30mを三時間の練習をくりかえしております。射つことのできない日は学校内で基礎体力養成ということで、柔軟、腹筋、背筋、腕立て、等のトレーニングをしております。

私は、アーチェリーの経験もなくこのことについてふれることは、おこがましいが指導する部が変わっても一貫として生徒に言っていることは

一、「継続は力」

どんなに力のある者でも日々の練習を欠かすことは選手として試合に出場することを放棄することであり練習を理由なく休む者は大会には力があっても出場させない。

二、「普段の練習に常に最善を尽くせ」

人格の陶冶は日々の練習を通して培われるものと確信しているため、限られた練習時間を有効にかつ効率を高めるものにするためには、生徒一人一人が真剣にとりくむ姿勢をつくりあげることが大切と考えている。

三、「基本に徹せよ」

いきづまったら基本にかえれと云われているように、慣れるとにより基本を忘れがちになりやすい。一流選手は長い経験から基本をベースに自分のフォームをつくっていることを理解させたい。

言いつくされている言葉だけであるが、ことある毎に、このような注意し日常の練習を充実させ厳しい練習に耐えさせるため、生徒に与えてきました。

部活動は楽しいものでなければならないが苦しい練習があるから、より成就感が高まるものだと思います。高校生には、がむしゃらの練習の部分があってもよいのではないだろうか。

偶然にも本校が元年女子団体全国優勝(北九州市)を遂げられた要因として考えられることは、

- 一、国体という大きな目標があった。
- 二、豊富な練習量 五月～七月までの三ヶ月間は朝練習を含む一日、五時間の練習
- 三、適切な指導をしてくれた協会のコーチ
- 四、部員が目標に向かってお互いに切磋琢磨しながら励んだ
- 五、北北海道専門部門が焦点を国体において実施してきた強化練習・合宿

特に専門部が昨年度から実施してきた強化練習には本校部員の多くが参加をし西出で先生を中心とした、高校側コーチの適切な指導により技術的にも精神的にも大きな成長をとげました。

無欲の勝利というものが真実あるとすればこの度の勝利をいうのかもしれない。

生徒には貴重な体験をさせてもらいました。これからも部員一同、このことを契機に、より一層の精進に務め、練習に臨んでいこうと決意を新たにしております。

顧問としての指導と同様につたない文章でまことに汗顔のいたりです。諸先生方には御理解できない点多々あろうかと思いますが、なにとぞ御容赦をお願いしますとともに、今後の我が部の発展のため御叱責、御助言など賜われれば幸甚に存じます。

選手権大会 栄光の歩み

(第1～19回：1日制、第20回～：男女別2日制で実施)

回数	男・女	団体の部	個人の部
第1回大会 (68'8.10.大阪府・東大阪グランド)			
男子		浜松興誠高(静岡) 1639.	稲川篤郎(浜松興誠高) 577.
女子		同志社高(京都) 1419.	布浦裕子(同志社高) 503.
第2回大会 (69'8.10.静岡県・県営草薙運動場)			
男子		岸和田産業高(大阪) 1689.	下向辰法(岸和田産高) 573.
女子		同志社高(京都) 1470.	布浦裕子(同志社高) 529.
第3回大会 (70'8.9.東京都・駒沢第一球技場)			
男子		岸和田産業高(大阪) 1606.	伊藤寿彦(岸和田産高) 601.
女子		同志社高(京都) 1505.	熊谷登美(同志社高) 527.
第4回大会 (71'8.1.京都府・府立大グランド)			
男子		浜松工業高(静岡) 1622.	亀井孝(同志社高) 600.
女子		甲南女子高(兵庫) 1493.	井上典子(同志社高) 534.
第5回大会 (72'8.4.神奈川県・三ッ沢球技場)			
男子		横浜高(神奈川) 1702.	角井和夫(広島工業高) 583.
女子		浜松北高(静岡) 1601.	辻紀子(甲南女子高) 552.
第6回大会 (73'8.5.東京都・駒沢第一球技場)			
男子		愛知高(愛知) 1764.	鈴木優(静岡三ヶ日高) 621.
女子		同志社女子高(京都) 1553.	辻紀子(甲南女子高) 558.
第7回大会 (74'8.3.滋賀県・県営彦根総合運動場)			
男子		同志社高(京都) 1707.	河内敏雄(同志社高) 600.
女子		同志社女子高(京都) 1644.	後藤有理子(同志社女高) 573.
第8回大会 (75'8.3.愛知県・愛知学院大グランド)			
男子		大阪工業大高(大阪) 1753.	梅内秀和(八戸工大第二) 646.
女子		同志社高(京都) 1586.	小里頼子(札幌啓成高) 551.
第9回大会 (76'8.1.北海道・札幌真駒内アイスアリーナ)			
男子		三本木農業高(青森) 1810.	市川松治(三本木農高) 633.
女子		富士見高(静岡) 1686.	佐野敦子(富士見高) 592.
第10回大会 (77'7.31.宮城県・秋保森林スポーツ公園)			
男子		慶応義塾高(神奈川) 1817.	神野浩(慶応義塾高) 627.
女子		浜松商業高(静岡) 1724.	松永弘子(富士見高) 607.

第11回大会 (78'7.27.青森県・十和田市陸上競技場)		
男子	愛知高(愛知) 1785.	山本博(横浜高) 639.
女子	三本木農業高(青森) 1641.	山内京子(浜松商業高) 570.
第12回大会 (79'7.29.広島県・県営総合グラウンド)		
男子	浜松工業高(静岡) 1836.	山本博(横浜高) 630.
女子	山陽女子高(広島) 1641.	大道理枝(山陽女子高) 582.
第13回大会 (80'8.3.滋賀県・秦荘町民スポーツセンター)		
男子	横浜高(神奈川) 1925.	山本博(横浜高) 670.
女子	千葉英和高(千葉) 1739.	大道理枝(山陽女子高) 618.
第14回大会 (81'8.2.東京都・駒沢第二球場)		
男子	名古屋電気高(愛知) 1888.	岐部恭史(大阪工大高) 640.
女子	大津商業高(滋賀) 1794.	名倉裕子(浜松工業高) 621.
第15回大会 (82'8.1.群馬県・川場中学校グラウンド)		
男子	丹南高(福井) 1817.	薄井雅美(馬頭高) 625.
女子	富士見高(静岡) 1682.	平田さゆみ(札幌月寒高) 598.
第16回大会 (83'8.7.奈良県・三宅健民運動場) ⑥雷雨の為、団体・個人共に63射迄の記録		
男子	馬頭高(栃木) 1650.	池田辰弥(慶応義塾高) 571.
女子	大津商業高(滋賀) 1587.	岩波ひろみ(大津商業高) 543.
第17回大会 (84'8.5.鳥取県・東郷湖羽合臨海公園スポーツ広場)		
男子	米子北高(鳥取) 1904.	松田武文(米子北高) 643.
女子	札幌啓北商業高(北海道) 1816.	山本和美(札幌啓北商高) 620.
第18回大会 (85'8.11.山梨県・敷島総合公園運動場)		
男子	米子北高(鳥取) 1889.	室伏優一郎(横浜高) 650.
女子	大津商業高(滋賀) 1789.	児玉晶子(米子北高) 648.
第19回大会 (86'7.27.沖縄県・宜野湾市海浜公園多目的広場)		
男子	横浜高(神奈川) 1787.	蓮田秋二(東京学園高) 629.
女子	札幌啓北商業高(北海道) 1753.	中込恵子(甲府第一高) 612.
第20回大会 (87'7.25~26.京都府・日吉胡麻総合運動広場)		
男子	三本木農業高(青森) 1876.	鎌田芳彰(幕別高) 643.
女子	折尾高(福岡) 1775.	大城春野(宜野湾高) 611.
第21回大会 (88'7.26~27.北海道・旭川市)		
男子	北大津高(滋賀) 1883.	吉田賢(甲府第一高) 657.
女子	折尾高(福岡) 1881.	岩山美保(折尾高) 635.

第22回大会 (89'7. .福岡県・北九州市)		
男子	柏 陵 高 (福 岡) 1685.	山 本 敦 (永 谷 高) 603.
女子	旭 川 北 高 (北海道) 1802.	鈴 木 知 子 (桜 丘 高) 634.
第23回大会 (90'7. .石川県・柳田村)		
男子		
女子		
第24回大会 (91'7. .山形県・鶴岡市)		
男子		
女子		
第25回大会 (89'7. .香川県・財田・仲南町)		
男子		
女子		
平成5年度 全国高等学校総合体育大会 第26回大会(92'8.1 ~ . . 県 .)		
男子		
女子		

大 会 記 録

[団体の部]

<p>《男子》横 浜 高 (神奈川) 1925</p>	{	<p>山本 博 670 (323.347) 白井 肇 628 (294.334) ・第13回大会 足立 朋美 627 (299.328)</p>
<p>《女子》折 尾 高 (北海道) 1881</p>	{	<p>岩山 美保 635 (299.336) 坂田美穂子 624 (291.333) ・第21回大会 岡部 由布 622 (290.332)</p>

[個人の部]

《男 子》	
<p>ハーフ・R 山本 博 670 (323.347)</p>	<p>神奈川・横浜高・第13回大会</p>
50 M 山本 博 323	神奈川・横浜高・第13回大会
30 M 山本 博 347	神奈川・横浜高・第13回大会
《女 子》	
ハーフ・R 児玉 晶子 648 (310.338)	鳥 取・米子北高・第18回大会
50 M 児玉 晶子 310	鳥 取・米子北高・第18回大会
30 M 児玉 晶子 338	鳥 取・米子北高・第18回大会

選抜大会 栄光の歩み

回数・期日 地 催 開	選 手 名 (学 校 名)	90~60m		小計	得点合計
		50~30m			
第 1 回 1983. 3. 25~27 愛 知 県 (尾張旭市)	河 合 徳 之 (浜 松 工 業 高)	246.	309	555	1 1 9 9
		306.	338	644	
第 2 回 1984. 3. 25~27 静 岡 県 (富 士 市)	上 鹿 渡 由 美 (清 水 高)	285.	303	588	1 1 8 3
		270.	325	595	
第 3 回 1985. 3. 25~27 滋 賀 県 (秦 荘 町)	角 田 信 一 (馬 頭 高)	259.	277	536	1 1 5 4
		294.	324	618	
第 4 回 1986. 3. 25~27 福 井 県 (芦 原 町)	田 中 志 律 (千 葉 英 和 高)	257.	268	525	1 1 2 4
		274.	325	599	
第 5 回 1987. 3. 25~27 東 京 都 (駒 沢)	松 田 武 文 (米 子 北 高)	208.	288	496	1 1 3 1
		301.	334	635	
第 6 回 1988. 3. 25~27 大 阪 府 (岸和田市)	藤 本 正 美 (大 津 商 業 高)	265.	299	564	1 1 9 5
		296.	335	631	
第 7 回 1989. 3. 25~27 神 奈 川 県 (横 浜 市)	田 中 喜 美 夫 (横 浜 高)	265.	300	565	1 1 9 8
		294.	339	633	
第 8 回 1990. 3. 25~27 兵 庫 県 (神 戸 市)	大 城 春 野 (宜 野 湾 高)	276.	286	562	1 1 5 3
		272.	319	591	
第 9 回 1987. 3. 25~27 東 京 都 (駒 沢)	和 田 和 則 (馬 頭 高)	234.	269	582	1 1 7 4
		307.	317	625	
第 10 回 1988. 3. 25~27 大 阪 府 (岸和田市)	松 宮 真 由 美 (丹 南 高)	283.	299	519	1 2 0 7
		306.	319	645	
第 11 回 1989. 3. 25~27 神 奈 川 県 (横 浜 市)	荒 金 利 剛 (米 子 北 高)	237.	282	519	1 1 6 4
		318.	327	645	
第 12 回 1990. 3. 25~27 兵 庫 県 (神 戸 市)	近 藤 真 弓 (信 愛 学 園 高)	287.	312	599	1 2 1 6
		292.	325	617	
第 13 回 1989. 3. 25~27 神 奈 川 県 (横 浜 市)	於 久 直 人 (北 大 津 高)	273.	319	592	1 2 5 0
		315.	343	658	
第 14 回 1990. 3. 25~27 兵 庫 県 (神 戸 市)	小 山 美 代 子 (兔 道 高)	291.	314	605	1 2 3 7
		304.	328	632	
第 15 回 1990. 3. 25~27 兵 庫 県 (神 戸 市)	赤 井 雅 宏 (北 大 津 高)	252.	307	559	1 2 0 0
		306.	335	641	
第 16 回 1990. 3. 25~27 兵 庫 県 (神 戸 市)	高 木 祐 子 (富 士 見 高)	263.	289	552	1 1 7 7
		305.	320	625	

大 会 記 録

《男 子》

シングル・R 於 久 直 人 1 2 5 0. (北 大 津 高) 第 7 回大会
(273.319.315.343)

90m 於 久 直 人 2 7 3. (北 大 津 高) 第 7 回大会

70m 於 久 直 人 3 1 9. (北 大 津 高) 第 7 回大会

50m 荒 金 利 剛 3 1 8. (米 子 北 高) 第 6 回大会

30m 於 久 直 人 3 4 3. (北 大 津 高) 第 7 回大会

《女 子》

シングル・R 小 山 美 代 子 1 2 3 7. (兔 道 高) 第 7 回大会
(291.314.304.328)

70m 小 山 美 代 子 2 9 1. (兔 道 高) 第 7 回大会

60m 小 山 美 代 子 3 1 4. (兔 道 高) 第 7 回大会

50m 松 宮 真 由 美 3 0 6. (丹 南 高) 第 5 回大会

30m 藤 本 正 美 3 3 5. (大 津 商 業 高) 第 3 回大会

日本高校記録 (FITA ROUND)

1989年12月31日

(男子)

種別	選手名	学校名・府県名	記録	大会名	樹立年月日	会場地名
シングル	大橋 亨	東京工業高・東京	1 2 8 9 (296 323 320 350)	89年東京都秋季大会	89.10.08	東京・世田谷区
90M	山本祥晃	横浜商・神奈川	2 9 7	第28回全日本選手権	86.11.03	福島・郡山市
70M	大橋 亨	東京工業高・東京	3 2 3	89年東京都秋季大会	89.10.08	東京・世田谷区
50M	大橋 亨	東京工業高・東京	3 2 0	89年東京都秋季大会	89.10.08	東京・世田谷区
30M	大橋 亨	東京工業高・東京	3 5 0	89年東京都秋季大会	85.10.08	東京・世田谷区
ハーフ	山本 博	横浜高・神奈川	6 7 0 (323 347)	第13回高校選手権	80.08.03	滋賀・秦荘町
50M	鎌田芳彰	幕別高・北海道	3 2 5	第41回「かいじ」国体	86.10.14	山梨・敷島町
30M	田島光浩	愛知高・愛知	3 5 0	第41回国体地区予選	86.08.30	岐阜・関市
ハーフ 団体	小櫃 豊彦 307.344 大橋 亨 302.342 相沢 真樹 301.338	東京工業高・東京	1 9 3 4	第10回関東高校選手権	89.06.04	神奈川・横浜市
【参考】 ダブル	松田 武文	倉吉農高・鳥取	2 4 5 0 1226 1224	第27回全日本選手権	85.11.09~10	山梨・敷島町

(女子)

種別	選手名	学校名・府県名	記録	大会名	樹立年月日	会場地名
シングル	児玉晶子	米子北高・鳥取	1 2 7 5 (305 323 308 339)	第27回全日本選手権	85.11.09	山梨・敷島町
70M	村川かおり	札幌啓北高・北海道	3 0 9	第27回全日本選手権	85.11.09	山梨・敷島町
60M	長見みどり	山陽女子高・広島	3 2 5	89年全米選手権	89.08.09	USA・オハイオ
50M	坂田美穂子	折尾高・福岡	3 1 3	87年高校選抜予選	87.10.18	福岡・折尾高
30M	井上鹿代子	富士見高・静岡	3 4 8	89年地区大会	89.06.11	静岡・田方郡
ハーフ	井上鹿代子	富士見高・静岡	6 5 3 (316 337)	89年静岡県高校総体	89.06.04	静岡・天竜市
50M	宮岸かおり	札幌啓北高・北海道	3 2 0	第44回国体地区予選	89.08.04	北海道・旭川市
30M	岩波ひろみ	大津商高・滋賀	3 4 3	第38回国体地区予選	83.08.21	奈良・奈良市
ハーフ 団体	岩山 美保 306.339 岡部 由布 299.330 羽広 智美 285.340	折尾高・福岡	1 8 9 9	88年福岡県高校総体	88.06.05	福岡・福岡市
【参考】 ダブル	児玉晶子	米子北高・鳥取	2 5 3 7 (1275 1262)	第27回全日本選手権	85.11.09~10	山梨・敷島町

全日本アーチェリー連盟

大会開催地・開催順(予定)

和 暦	西暦	全国高校選手権	全国高校選抜大会	国民体育大会
平成元年	1989	福岡県 北九州市	兵庫県 神戸市	北海道 旭川市
平成2年	90	石川県 柳田村	愛知県 愛知学院大	福岡県 北九州市
平成3年	91	山形県 鶴岡市	京都府	石川県 柳田村
平成4年	92		静岡県	山形県 鶴岡市
平成5年	93	栃木県 IHに参加		香川県 二町会場
平成6年	94	富山県 IHに参加		愛知県岡崎市
平成7年	95	西地区		福岡県三春町
平成8年	96	東地区		広島県
平成9年	97	中地区		大阪府
平成10年	98	西地区		神奈川県
平成11年	99	東地区		熊本県
平成12年	2000	中地区		富山県
平成13年	01	西地区		

改正変更(予定)事項

1. IH参加時の競技規則の変更(予定案)

競技：①シングル・R

②選手3+補欠1人(出場選手変更可、監督会議まで)

③予選・準決・決勝方式(予選通過=団体12チーム、個人16人、男女別)

日数：4日間、1日目 監督会議、公式練習、開始式。

2・3日目 男女別各予選。

4日目 男女準決勝。

5日目 男女決勝、閉会式。

2. 選抜大会参加人員(各県枠)の設定

学校登録数・選手登録数は、登録期日の5月末日で算定。

記録収集について

競技委員会

記録収集の意義につきましては組織の歴史であり、同時に将来的な発展の最も大きな原動力となるべきものであります。競技力の向上、組織の活性化、競技の普及拡大、すべてこの記録無しには考えられません。記録送付は下記の要領でお願い致します。

- 1) 送付記録は原則としてコンピューターデーターの形とする。* 1
- 2) 種別、種目、項目は従来通りとする。* 2
- 3) 各都道府県で2)の2種別、6種目について競技者のランキングを作成し、そのデーターを送付する。
- 3)送付用フロッピーディスクは競技委員会記録部より郵送するので、その中に入力する。

* 3

- 4) 送付先 〒856 長崎県大村市森園町1079-3

県立 大村工業高等学校

機械科 大塚敬輔

- 5) 送付締切期日 該当年度の12月21日(必着)

* 1 ロータス123 R2.1Jで作成されたデーターとし、原則的に3.5インチフロッピーディスクを使用する。

* 2 記録送付競技会

1) 都道府県高等学校体育連盟主催の競技会

2) 全ア連主催あるいは公認の競技会

* 3 送付用フロッピーディスクは各都道府県専門委員長宛に郵送し、記録担当者に転送する。

高校公認記録規程

- 第1条 全日本アーチェリー連盟（以下「全ア連」という。）規約第11章第136～143条にもとづき、全国高等学校アーチェリー連盟（以下「本連盟」という。）規約第8章第11条第3項により競技記録公認規定をこれにより定める。
- 第2条 本連盟の加盟・登録者が、この規定の定めるところにより、その加盟学校および登録構成員が、以下にかかげる諸条項のもとに行われた競技会において作られた記録に限り公認申請することができる。
- 第3条 日本高校記録は、全ア連競技規則第137条の外、次の条件を満たすこと。
- 1) 当該年の4月1日現在18歳未満の高校生の記録であること。ただし、定時制生徒は19歳未満とする。
 - 2) (1)全ア連が公認した競技会における記録。
(2)各都道府県単位または地域高校競技会の記録。
ただし、印刷したプログラムがあり、競技委員長・審判長・射場長は公認審判員であること。
 - (3)ハーフラウンド及びハーフラウンド団体の記録は、ハーフラウンドの競技会の記録であること。
- 第4条 前条にかかげる競技会には、次に定める諸条件が具備されていなければならない。
- 1) 各都道府県高体連に学校加盟し、本連盟に加盟・登録していること。
 - 2) 団体の記録は同一学校、同一課程の編成であること。
 - 3) インター・ハイ本大会に準じた、相互得点記録方法であること。
- 第5条 個人の距離別の記録公認については、第3条に規定された競技会において樹立されたものを申請することができる。
- 第6条 前条に定める競技会の記録公認申請は、競技の日より原則として1カ月以内に主催または主管団体長が前条の確認をなし、全ア連所定の記録承認申請書（連盟様式-6）に必要事項を記載し、全ア連事務局に提出するものとする。
- 第7条 全ア連理事会で審査の結果、新記録として承認されたときは、その旨を本連盟においても発表し、高等学校記録証を交付する。
- 第8条 毎年12月10日付をもって、各都道府県高体連ア専門部または各都道府県ア協会は

第3条に定めた競技会に於て当該都道府県の高等学校最高記録を保管し、その写しを毎年12月20日までに本連盟事務局まで送付しなければならない。

第9条 本規定は、本連盟理事会において改廃する。

第10条 本規定は昭和57年5月9日より施行する。

昭和60年4月1日一部改正

昭和63年2月11日一部改正

申請書送付先

〒150 東京都渋谷区神南1-1-1

岸記念体育会館内 全日本アーチェリー連盟 宛

主管団体名
会長名



記録承認申請書

下記の通り新記録が樹立されましたので、ここに承認申請をいたします。

申請内容		日本記録		日本高校記録		日本国際記録		
競技会名	第 回							
期 日	平成 年 月 日～ 月 日、(日間)							
会 場								
区分・種別		団 体		個 人		男 子		女 子
種目・距離		ハーフ・R		シングル・R		ダブル・R		グランド・R
		個人TOTAL		個人距離		90. 70. 60. 50. 30.m		
競技者名	(学校・所属名)		①氏名:		登録番号 H -			
			②氏名:		登録番号 H -			
			③氏名:		登録番号 H -			
記録内容	団体記録	合計: _____ 点						
		① _____ 点 (50m: _____ 点・30m: _____ 点)						
		② _____ 点 (50m: _____ 点・30m: _____ 点)						
	③ _____ 点 (50m: _____ 点・30m: _____ 点)							
	個人記録	_____ 点 (_____ , _____ , _____ 点)						
	距離記録	_____ m: _____ 点 (_____ 点・ _____ 点)						
		_____ m: _____ 点 (_____ 点・ _____ 点)						
競技会責任者	競技委員長または審判長の署名・捺印 ㊟							
備 考	1. 申請書は、新記録が樹立された種目毎に1枚あて提出すること。 2. 添付種類は、①スコアシートへの写し(コピー可)、 ②競技会プログラム、 ③競技会成績一覧表、 を提出すること。 3. 未登録の場合、記録樹立後の競技者登録および承認申請書の提出は、いかなる理由があっても認められない。							

服装規定について

競技部 競技委員会 細則
昭和62年2月11日改定

[服装等に関する規定]

1. 選手およびマネージャーのユニホームは、帽子・上衣・下衣・靴下・靴にいたる、全ての装着品が、完全にチーム内で統一されていること。

2. 競技用服装

ア) 上衣 学校名または学校をあらわすマークおよび所属の都道府県名を明記すること。

イ) 下衣 白スラックスまたは白スカートとする。

これら製品の全体（部分的な装飾・デザインを含む）が白色の範囲で、競技スポーツの機能を適合するフォーマルなスラックスまたはスカートとする。（下記に示す部分の異色装飾および、商品（製品）名については、その使用を一切認めない。）

[部分的な装飾]

a. ライン・ステッチ・ポケット部分の縁取り等。

b. ベルトレス部分の白色以外のライン・テープ等。

[白ジーパン・綿パン]

ウ) 帽子等 帽子・ヘアバンド・はち巻きは、白地のものとする。

エ) 靴 靴は、アップシューズ型の運動シューズとする。

[服装検査の解釈と取扱基準] の範囲

1. 帽子等 色……………白色または白色系統を基調にしたもの。

型……………野球帽、テラピンチ、チュウリップハット。

（サンバイザー、ヘアバンド、ハチ巻き等は使用可）

装飾……………教育活動に相応しい範囲のもの。

（全体または一部に縁取り・デザインテープは使用可）

[使用不可]

1) 教育活動の場や機能として相応しくないもの。

2) 誇大な商標、商品名、メーカー名等の宣伝に資するもの。

2. 上衣 色……………同一の色彩・色調で統一されたもの。

(経年による自然脱色変化…使用可)

型……………同一の形態で統一されたもの。

(半袖・長袖を問わず、使用時は一方に統一のこと。)

(半袖時の長いアンダーウェア…使用可)

素材……………同一の使用素材で統一されたもの。

表示……………都道府県、学校名または校章を統一表示のこと。

(名称は邦字・ローマ字のいずれかで表記のこと)

[使用不可]

- 1) 教育活動の場に相応しくないもの。
- 2) 校章以外のマーク。(例：マスコットマーク・アプリケ等)
- 3) 誇大な商標、ワンポイントマーク等。基準：3 cm²程度以)
- 4) デザイン・名称表示(県名・校名・マーク)の不均質な差異。

3. 下 衣 色……………純白～白色の範囲内であること。

(使用頻度による耐用変色の範囲……………使用可)

(織布自体のアイボリー・クリーム色……………不許可)

内容……………スラックスまたはスカートで統一されること。

(フォーマルなスポーツ・スラックスのみ……………使用可)

型……………形態的な統一と、競技スポーツ全般に使用可能のもの。

(同一メーカーの同素材・同デザインのみ……………使用可)

装飾……………全体・一部のアクセント・ポイントとしての飾り等

(ベルトレス・ステッチ、ポケット縁取り)であっても純白～白色の範囲内であること。

[使用不可]

- 1) 教育活動の場に相応しくないもの。
(例：遊び着・タウン着・私服に類するもの)
- 2) 誇大な商標、ワンポイントマーク。(基準：3 cm²程度以上)
- 3) 同一メーカーの同品番であっても、購入年度差による全体的な形態的・デザイン的差異。または、チーム内のメーカー間差異。
(チーム内の統一とはみなさない。)

- 4) 純白～白色の範囲以外のベルトレス、ステッチ、ポケット縁取り等の装飾および装飾アクセント類に属するもの。
 - 5) 素材、織布自体のアイボリー・クリーム色類の色調。
 - 6) 綿パン、ジーパン、キュロットスカートまたはレジャー着等。
4. 靴 下 半・長ソックスも白色で統一のスポーツソックスであること。
(最小限のライン・ワンポイントマーク…使用可)
5. 靴 内容…スポーツシューズ(布または皮革製のゴム底)
型……アップシューズ型(紐等で幾重にも締上げ可能なもの)

[使用不可]

- 1) カジュアル、ダンス・半バス・タウン・編みあげ型等のレジャーまたはタウンシューズ類に属するもの。
6. その他(防水・防寒衣類)
: 防寒・防水については、現行は規定せず。

[規定の適応と指導遵守]

各都道府県における競技会時には、各学校顧問の指導によって上記の服装規定の認識と適応・遵守を選手に義務付け、各地域大会および全国大会時の府県間格差の解消に努めるとともに、各県毎に永続的な指導を図ること。

上記の規定範囲外の運用は、教育活動の一環と全体の流れに照らした判断指導処置を、各都道府県の競技会実施責任者の裁定に委ねる。

大会実施要項に記載すべき内容（各都道府県内大会）

1. 大会名……ア. 平成〇〇年度、第〇〇回
イ. 大会名（兼. 第1次予選、第2次予選、最終予選）
2. 期 日……ア. 平成〇〇年〇月〇〇日（ ）～〇月〇〇日（ ）
イ. 平成〇〇年〇月〇〇日（ ）開始 時 分～
3. 場 所……ア. 〇〇高等学校グラウンド、（TEL — — ）
4. 主 催……ア. 〇〇県教育委員会、〇〇市教育委員会
イ. 〇〇県高等学校体育連盟
5. 主 管……ア. 〇〇県高等学校体育連盟アーチェリー専門部
イ. 〇〇県高等学校アーチェリー連盟
6. 日 程……ア. 開会式、競技開始、競技終了、表彰式（時間明示）
7. 参加資格……1) 全日本アーチェリー連盟ならびに全国高等学校アーチェリー連盟に生徒会員登録する高等学校生であること。
2) 学校長の出場許可があり、当該高等学校教員が引率してくること。
3) 年齢は、4月2日を起算日とし19才未満の生徒とする。
4) チーム編成において、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
8. 参加制限……1) 参加制限内容の明示
2) ”
3) 参加申込み後のメンバー変更は認めない。
9. 競技規定……平成〇〇年度、全日本アーチェリー連盟「標的競技規則」および大会運営規定を適応する。
 - 1) 競技種目
 - a. FITA〇〇〇〇ラウンド競技とし、学校対抗・個人戦を実施する。
 - b. 学校対抗（団体の部）は、各校上位3名の得点を合計し成績決定する。
 - c. 学校対抗の部に出場する選手の得点は、個人の部の成績を兼ねる。
 - 2) 競技方法
 - a. 各距離とも1標的1名で、A・B・Cの3立制で実施する。
 - b. 試射は、ABC、ABCの3射×12回の6射以内を最長距離で実施する。
 - c. 行射はABC/CAB/BCAの順で、3射毎に得点記録・矢

取りを繰り返す。

3) 得点記録方法

得点記録は、同一標的を使用する全選手で行う。ただし、的中得点の自己申告ならびに自己記入は、全て失格矢の取扱いとし得点を認めない。

- a. 的中する矢の得点判読と記入は、その矢を所有する競技者以外の者が全てを呼称し、同標的を使用する他の競技者がシートに記録を記入する。
- b. 同標的を使用する全競技者が、相互にローテーションして的中得点の呼称とシート記入の確認者となって、得点記録を実施する。
- c. 得点判読・誤記入等で疑義がある場合には、審判員の判断をおおぎその判定を最終のものとする。

10. 服装規定…… 開・閉会式および競技中の服装は、全国高等学校アーチェリー連盟が制定する服装規定の通りとする。

11. 表 彰

12. 参加費用

13. 連絡事項

14. その 他

プログラム作成の基準について

I. 目的

各県が作成するプログラムの記載内容を統一するとともに、相互の連携を以て組織の充実と地域編成を推し進めるため、この基準を定める。

II. 対象

加盟各都道府県の高等学校生徒を対象とする競技会プログラムとし、出来るかぎり速やかに対応すること。

III. 作成基準（次の通りとする。）

1. 内容

県内における高等学校アーチェリー競技会に相応しい掲載内容とする。

（広告を努めて掲載しないことが望ましい。）

2. 規格等

ア) 規格 B-5判サイズ、紙質：中質紙

イ) 様式 横書き（縦左とじ：右山折り返し）

ウ) 書式 手書き・タイプ印刷等

IV. 掲載内容等（次のとおりとする。）

① [おもて 表紙]

1) 大会名

2) 期日・会場名

3) 主催・主管

4) 参加校数

5) 大会・競技役目

② [表紙みかえし] = (表紙裏)

1) 競技日程

2) 式典次第

3) 参加校顧問名・出場選手数一覧表（男女別）

③ [掲載内容等の順]

1) 栄光のあゆみ（過去の成績）…… P. 1

2) 大会記録・県高校記録

3) 参加資格・制限…………… P. 2

4) 競技規定

ア. 競技種目

イ. 競技方法

ウ. 得点記録の方法

④立順組合せ一覧表（男女別）…………… P. 3～

⑤成績表…………… P. 3最終頁

（作成にあたっては、以下を参照のこと。）

① [表紙]

大会名

平成 年度
 ○○県高等学校□□アーチェリー競技会
 (兼. 全国高等学校選手権△△予選会)

□□…春季・秋季・県民
 △△…1次・2次・最終

期 日 平成○○年○月○○日 () ～○月○○日 ()
 会 場 名 ○○高等学校グラウンド (○○市民アーチェリー射場)
 主 催 ○○県教育委員会 ○○県高等学校体育館連盟
 後 援 上部団体 (県教委・県高体連の指導に従うこと)
 主 管 ○○県高等学校体育連盟アーチェリー連盟
 (○○県高等学校アーチェリー連盟)
 参加校数 男 子 ○○校 ○○○名
 女 子 ○○校 ○○○名

大会役員

大会会長 (高体連会長 ○ r 協会会長)
 大会副会長 (高体連副会長 ○ r 協会副会長)
 大会委員長 (専門部部長 ○ r 協会理事長)
 大会委員 (専門部副部長 ○ r 協会副理事長)

競技役員

競技委員会 (専門委員長)
 競技副委員会 (専門副委員長)
 総 務・式典表彰・広報係・救護係
 審判長・審判員
 射場長・計時係・計測係・会場係
 本部記録・記録係
 ・記録通報 (本連盟へ競技会記録を報告する責任者)

NO2

② [表紙みかえし]

競技日程 ○月○○日 ()
 開 会 式 ○○時○○分～
 競 技 開 始 ○○時○○分～ (学校対抗) (個人戦)
 競 技 終 了 ○○時○○分
 閉 会 式 ○○時○○分～

式典次第

[開会式] 選手集合・整列 1. 開会宣言 2. 優勝杯返還 3. 大会会長挨拶 4. 審判長注意 5. 選手宣誓 6. 閉式通告 選手退場・解散	[閉会式] 選手集合・整列 1. 開式通告 2. 成績発表 3. 表彰 4. 審判長講評 5. 大会会長挨拶 6. 閉式通告 選手退場・解散
---	--

参加校の顧問名・出場選手数一覧表（男・女別計）…参考様式

学校名	男子		女子		合計		顧問名
	団体	個人	団体	個人	団体	個人	

③ [過去の成績] (各年度・回数別に) 参考様式

男女別 団体 優勝校名・記録 [得点合計 (上位3人の得点内訳)]

〃 個人 優勝者名・記録 [得点合計 (50m・30mの得点内訳)]

年	回	性	団体	個人
**	1	男	〇 〇 高1930 (660.640.630)	〇〇〇〇 (**高) 650 (610.640)
		女	◇ ◇ 商高1870 (630.630.610)	◇◇◇◇ (++)高) 640 (610.630)
++	2	男		
		女		
++	3	男		
		女		

④ [大会記録]

[団体男子]

〇 〇 高 1930 (第〇〇回大会)

◇◇	◇◇660 (320.340)
□□	□□640 (310.330)
△△	△△630 (315.315)

[団体女子]

〇 〇 高 1870 (第〇〇回大会)

◇◇	◇◇635 (310.325)
□□	□□620 (300.320)
△△	△△615 (300.315)

[個人男子]

△△ △△ (□□高) 645 (310, 335)

(第〇〇回大会)

[個人女子]

△△ △△ (□□高) 635 (310, 325)

(第〇〇回大会)

県高校記録

[団体男子]

◇◇ 高 1931 { ◇◇ ◇◇651 (320, 331)
□□ □□645 (315, 330)
△△ △△635 (315, 320)

(第〇〇回大会)

[団体女子]

◇◇ 高 1880 { ◇◇ ◇◇630 (310, 320)
□□ □□635 (310, 325)
△△ △△615 (305, 310)

(第〇〇回大会)

[個人男子]

〇〇 〇〇 (◇◇高) 680 (330, 350)

(第〇〇回大会)

[個人女子]

〇〇 〇〇 (◇◇高) 650 (310, 340)

(第〇〇回大会)

⑤ [参加資格]

- 1) 高等学校に在籍する生徒で、昭和 年度「全日本アーチェリー連盟」に生徒競技者登録を完了したものであること。
- 2) 年齢は4月2日を起算し、18才未満の生徒とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。

参加制限

⑥ [競技規定]

昭和〇〇年度、全日本アーチェリー連盟「標的競技規則」および大会運営規定を適用する。

1. 競技種目

- 1) FITAハーフ・ラウンド競技とし、学校対抗・個人の部を実施する。
- 2) 学校対抗(団体)の部は、各校上位3名の得点を合計し成績決定する。
- 3) 学校対抗の部に出場する選手の得点は、個人の部の成績を兼ねる。

2. 競技方法

- 1) 各距離とも1標的1名で、A・B・Cの3立制で実施する。
- 2) 試射は、ABC・ABCの3射×2回の6射以内を最長距離で実施する。

3) 行射の順序は、各距離ともABC矢取り、CAB矢取り、BCA矢取りの順とし
3射毎に得点記録、矢取りを繰り返し行う。

4) 立ち遅れ、立ち残りは指導警告とし、度重なる警告は失格処置とする。

3. 記録方法

得点記録は、同一標的を使用する全選手で行う。ただし、的中得点の自己申告な
らびに自己記入は、全て失格矢の取扱としこの得点を認めない。

* 大会実施時の要領 (参考表記)

① 的中する矢の得点帯の判読と記録記入は、その矢を所有する競技者以外の者が
全てを呼称 (判読) し、同標的を使用する他の競技者が高得点が高得点から順に、
スコアシートに記録を記入する。

(例：ゼッケンAの選手は、ゼッケンBの選手の的中矢の得点を判読し、ゼッケン
Cの選手が、スコアシートへ記録記入を行う。)

② 同標的を使用する全競技者が相互にローテーションし、的中得点の呼称とスコ
アシートの記入と確認を行って得点記録を実施する。

③ 標的の的中孔×印は、使用する選手側で記入を実施すること。

4. 服装規定

開・閉会式および競技会ともに、全国高等学校アーチェリー連盟が制定する服装
規定の範囲とする。

⑦ [立順組合せ] 一覧表 (男女別) …参考様式

(男子の部)

校 名	ゼッケン NO	選 手 名	学 年	得 点		個 人		団体合計 (順位)
				50m	30m	合 計	位	
〇 〇 〇 高 校	1-A							_____ (順 位)
	2-A							
	3-A							
	4-A							
△ △ 工 高 校	1-B							_____ (順 位)
	2-B							
	3-B							
	4-B							

⑧ [成績表]

第〇〇回 高等学校〇〇アーチェリー競技会
成 績 表

78. . . .

[団体男子]

於：◇◇高校

順位	学 校 名	得 点	得 点 内 訳			
			選 手 名	50m	30m	TOTAL
1						

3						

[個人男子]

順位	選 手 名	学年	学 校 名	得 点 内 訳		
				50m	30m	TOTAL
1						
2						
3						

その他事項

- 1) 既に参加する高体連が、プログラムの作成を規定する場合には、その規定を優先し指示事項に従うものとする。ただし、上記に規定する項目・内容等を順不同であっても網羅記載すること。
- 2) 未だプログラムの作成基準を定めないその他の都道府県においては、上記に記載する項目・内容順にプログラムを編集作成すること。

注意事項

- 1) 大会の主催・後援等の共催申請は、早目に関係機関・団体に申請し、編集製作時には共催名義の了解を得ておくこと。
- 2) 大会役目・競技役員等の委嘱は早目に作成し、各役員等の所属する勤務先の直属上司宛に、2週間前までには発送し依頼しておくこと。

連絡先および口座番号

1. 事務局

〈登録担当〉

菊地直登(玉川学園高)

TEL 0427-28-3503

FAX 0427-28-3588

2. 競技部

〈記録登録〉

○大塚敬輔(大村工業高)

TEL 09575-2-3773

3. 口座番号

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部事務局の口座

(銀行名)

住友銀行渋谷支店

(預金種目・口座番号)

普通 6860

(口座・代表者名)

東京工業高等学校 全高連ア専門部 雨宮 健次郎

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部総務の口座

(銀行名)

東海銀行覚王山支店 (店番) 264,

(預金種目・口座番号)

普通: 161-215

(口座・代表者名)

全国高校アーチェリー 田中 康彦

4. 斡旋物資問い合わせ先

〒553 大阪市福島区鷺州3丁目6-29

美津濃株式会社 大阪本社営業センター

第1事業部 川西雄二、山田、横山

(☎ 06-454-5115)

あ と が き

会報の4号ができました。沿革などからは歴史が感じられ、年々、新しい記載事項が付け加わっていきます。また、加盟校、登録人数も着実に増えていきますし、高校記録も更新されています。ますますの発展を促すためにもこの会報が記録誌の役割りとともに、全国の顧問の幅広い交歓誌の性格もおびてきました。

より利用性を高めるために、この度の会報より、各校顧問へ一部、アーチェリー部へ一部、各二部ずつ配布することにしました。また新規細則も載せましたので、是非ご一読頂き、慶弔規定、表彰規定などをよく理解し、多いに利用して頂きたい。

次号にむけて皆様方からの多数の投稿によって充実した会報にしていきたいと思えます。

発行日 平成 2 年 5 月

編 集 総務委員会

発行所 全国高等学校アーチェリー連盟

事務局 〒153 東京都目黒区駒場 1-35-32
東京工業高等学校内(TEL03-467-2131)

印刷所 (株)シバタプロセス印刷

〒526 長浜市新庄中町296-5

TEL (0749) 63-6860(代)

Mizuno
THE WORLD OF SPORTS



確実なグリップを生む本格派。

〈ランバード〉アーチェリーシューズ
36KA-8250 ¥10,000

- 甲/人工皮革(クラリーノエフ) ● 底/VCRラバーソール
- 製法/セメント式 ● サイズ/22.0-28.0

芝のグラウンドでもグリップ性、ストップ性を発揮するVCR配合ラバーソールを採用。
アッパーにはソフトで足あたりが良く、耐久性・耐水性にすぐれた人工皮革(クラリーノエフ)を採用。

ミズノ製品についてのお問い合わせ・ご相談は「ミズノお客さま商品相談センター MUSIC」 ● 東京 TEL.(03)233-7110 ● 大阪 TEL.(06)454-5001

RunBird
ATHLETIC FOOTWEAR

